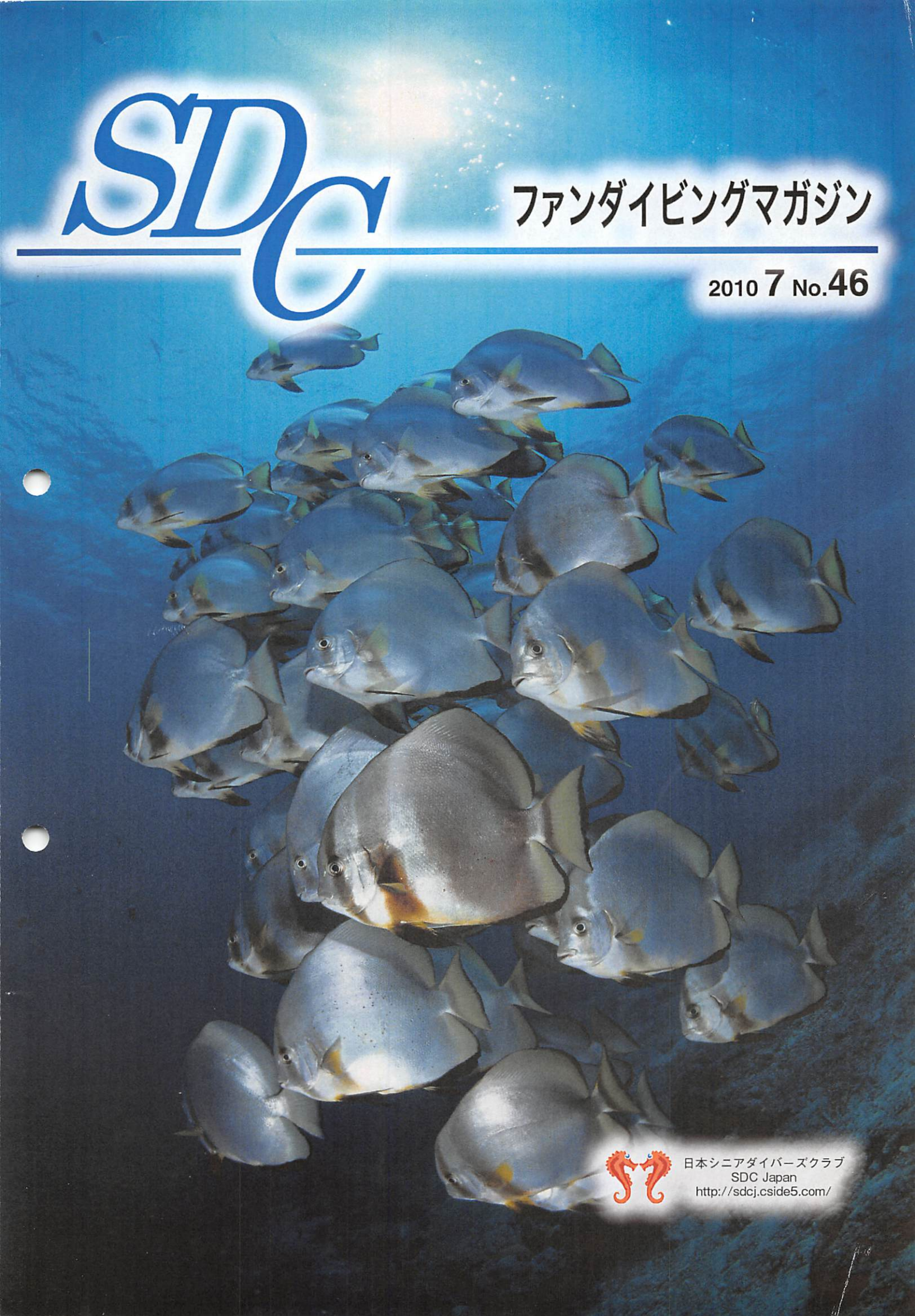
SDC

ファンダイビングマガジン

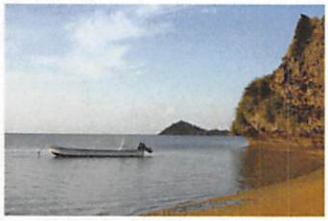
2010 7 No.46



日本シニアダイバーズクラブ
SDC Japan
http://sdcj.cside5.com/

2010 7 No.46

CONTENTS


P6・石垣島

P８・粟国島

P 10・ペリリュー島

P 12・トゥバタハ

P 14・ボホール

P 16・シミラン

P 18・モルジブ

P 20・モルジブ・バア環礁

表紙に寄せて　449　大石　和明

ツバメウオはよく中層を群れて泳いでいます。ゆっくり泳いでいますので、撮りやすくダイバーに人気があります。でも綺麗に揃っているところを撮るのはなかなか難しいです。まず群に会ったら良く動きを観察します。それからそっと近づき、相手の警戒心がなくなるまでじっとついて行きます。そして整然と並ぶのを待ちます。この写真は私の会心の一枚です。何処かの国の内閣認証式の記念撮影のようです。

1 巻頭言　大隅楠夫
会報のリニューアル　江藤征雄

トピックス

2 総会・懇親会報告　竹内千草
3 退任役員挨拶／新役員紹介
4 総会・懇親会に初参加して
5 返信ハガキより

国内ツアーレポート

6 石垣島ツアー報告　大隅照子
7 伊豆の春にごり　氏家友枝
8 粟国島ダイビングレポート　江藤征雄

海外ツアーレポート

10 ペリリュー島レポート　西村麻美
12 トゥバタハ・ダイブクルーズ　白松礼子
14 ボホールツアー　大隅楠夫
16 シミランクルーズに参加して　大隅楠夫
18 モルジブ　クルージング　鈴木征男
20 モルジブ・バア環礁レポート　木村満男

セーフティダイビング

21 バディシステムについて　江藤征雄

フィッシュウォッチング

22 海の生き物の生態観察　大隅楠夫

水中映像

23 第6回もっと使おう水中コンパクトデジカメ　工藤昌男
24 SDC水中映像を楽しむ会　鈴木麗子

同好会だより

25 SDCミュージックサロン　吉田光子・西村麻美
26 アウトドアー活動報告　小野寺弘子・島尾愛子
宇留賀達雄
28 第4回ご近所の会　石川　勝
29 第24回呑和会「花見会」　宮本節子
第18回散骨を語る会　河原智怡
30 フリッパーの会活動報告　江田　隆
ウォーク＆ジョグの会　川住規夫

賛助会員コーナー

31 賛助会員通信
35 （広告）レックスツアーズ（道祖神）
36 （広告）サンドウェーブ
37 （広告）ぷちアイランド

インフォメーション

38 SDCツアー計画一覧表　木村満男
37 追加ツアー計画　大隅楠夫
40 会からのお知らせ・編集雑感

表紙

1 ツバメウオの群れ　大石和明
2 国内・海外ツアー写真
3 SDC写真館（地球の海フォトコンテスト2010入選写真）
福田孝子・土居元枝・鈴木麗子
4 SDC主要行事案内

SDCのダイビングツアーを考える

005　会長　大隅　楠夫

日本シニアダイバーズクラブの基本となる活動は、当然ながらダイビングツアーです。ここ数年、公認ツアーの減少が問題となっています。どうしてそうなったのか、また何か打つ手はあるのか、過去のツアー活動を振り返って考えてみました。

第Ⅰ期（1994-1999）は、創立時41名でスタートしましたが、あっという間に5年目に会員数350名まで急増しました。当然ながら、会員数に対応したツアー計画が期待されました。

第Ⅱ期（2000-2004）になって、有難いことに、強力なボランティア精神を持った数人のツアー幹事が現れて、ツアー数が急増しました。そこで威力を発揮したのが会報です。2000年4月から季刊発行となり、3ヶ月毎に新しいツアー計画が掲載され、ツアーが順調に実施されるようになりました（2004年のツアー企画60）。

第Ⅲ期（2005-2009）になると、公認ツアー数は減少傾向となり、一方水面下で個人グループのツアーが盛んに行われるようになりました。

第Ⅱ期と第Ⅲ期の違いはなんでしょう。第Ⅱ期当時、会員の経験本数は100本前後とまだそれほど多くなく、仲間を作りたい、ツアーがあればどこにでも参加したいという会員が多かったと思います。第Ⅲ期になると、会員経験が長くなると同時に経験本数が増え、ダイビングの好みが多様化しました。同時に仲間づくりが進んで、気の合う仲間で行く個人グループツアーが増えました。今年になってこの傾向は更に進んで、公認ツアー数は激減しています。

では今後どうすればよいのでしょう。

SDCは会員歴、経験本数、好みのダイビングなど多様化した会員で成り立っています。多様なニーズに合った、きめの細かいツアー企画が必要となります。先ず会員のニーズを把握しなければなりません。会員のダイビング活動に関する情報が必要となります。現在集められる情報として、個人および個人グループツアーの情報および年2回の総会・懇親会の案内への返信による会員のダイビング活動情報が期待できます。SDCはこれまで16年間、クラブ規約の行動原則にある「助け合い」の伝統で続いてきました。全会員が参加出来る「助け合い」の原点として、ダイビング活動の情報提供をお願いします。

会報のリニューアル

648　江藤　征雄

広報の役員を引き受けてから早いもので1年になります。私ごとですが「人間のすることにパーフェクトなものは無く、更なるステージを目指して日々前進する」ことをモットーとしています。

今回、46号会報の編集長を担当するに当たり、以前より見直した方が良いのではと感じていた個所を中心に会報のリニューアルを行いました。

1．リニューアルの狙い

①読み易さ、使い易さの向上　②イメージの一新
③楽しく、役立つダイビング（海）情報の充実
を図る。但し、会報製作費のアップはしない。

2．内容

(1)表紙（表1）

①全面写真化し、会報のイメージを一新する。
②タイトルの見直し：SDC活動の基本である「ファンダイビング」を誌名とする。
③タイトル周りをスッキリさせ全面写真との調和を図る。 尚、会のIDは纏めて右下に配置する。

(2)表紙の内側（表2）

①コンテンツを表2に配置。且つ、記事を層別しサブタイトルを設けて表示し、掲載記事が一目で分かるようにする。
②ダイビングツアーのカラー写真を、ツアー毎に1枚コンテンツの左脇に掲載し、ツアーの雰囲気を読者に伝え、レポートへのガイド役とする。

(3)裏表紙の内側（表3）＆裏表紙（表4）

①表3は従来通り「SDC写真館」とする。
②表4の余白を有効活用し、会の主要行事案内を掲載。場所、日時等が一目で分かるようにする。

(4)掲載記事（詳細は本号コンテンツを参照下さい）

①記事を層別して配置し、読み易くする。
②ツアー計画表は最終ページの前に配置、賛助会員通信は五十音順の掲載とし、ツアー申込検討の際の検索を容易にする。
③「セーフティダイビング」コーナーを設け、会員の体験談を掲載。安全潜水の参考にして頂く。
④「フィッシュウォッチング」コーナーを設け、国内や世界各地の海で出会った、不思議・楽しい・可愛い事など貴重な海洋生物の生態観察記事を掲載、ダイビングテーマ探しの一助とする。

㈱上記の表1・表2・表3・表4とは本や冊子の表紙部分のページの正式な呼び方です。

総会・懇親会報告

450　総務　竹内　千草

梅雨前のさわやかな季節、6月6日に恒例の「SDC総会・懇親会」が恵比寿イーストギャラリーで開催されました。出席者数は102名で、開会一時間前に始まった自由参加の「ビデオ・スライドショー」は出席者の80％くらいの人が鑑賞したようです。力作揃いで、大評判でした。今年見逃した方、来年は11時に遅れないようにおいでください。

氏家さんの司会で12時に総会開会。大隅会長のご挨拶は、「SDCのダイビングツアーを考える」というタイトルのお話でした。「公認ツアーの減少著しい現在、会員の多様なニーズを知るには、今増えている個人ツアーの情報を会に提供していただくことが必要、そうした上でSDCダイビングツアーを企画するとよい」と会員皆が考えて欲しい大事な内容でした。広報鈴木さんの「会員現状調査報告」は会員の年齢分布の推移、ダイビング本数推移、等をグラフで分かりやすく表し、みなさん大変興味をもって見て、聴いていました。

会計報告、次年度予算を終え、3名の新役員が決定し、2名退任しました。賛助会員は10名参加、ご挨拶をしていただきました。恒例の記念撮影を終えて懇親会です。「懇親会パート1」では坂東副会長挨拶、良縁時さんの音頭で乾杯のあとは6～7名のテーブルごとの楽しいお食事とおしゃべり、それぞれダイビングの話題で花が咲いたことでしょう。初参加、新会員の方は5名、ご挨拶をいただきました。どうぞよいお仲間をみつけてください。

「懇親会パート2」は会食を終えたあとのテーブルの上を片付けて、・新会員・初参加者（1テーブル）・情報問合わせ（1テーブル）・賛助会員優先（4テーブル）それ以外・フリートークテーブルという配置で、思い思いの場所で飲み物をカウンターから持参して、それぞれの楽しみかたをしていただいたと思います。あちこちと移動をして、大勢の会員と交流をした方もいらしたでしょうし、仲のよい友達同士の交流を楽しまれた方もいらっしゃるでしょう。

16時にお開きとなりました。ご参加くださった皆さま、新年会もどうぞいらしてください。

残念ながら欠席された方、次回はお待ちしています。

［役員人事］

・退任役員

副会長・事務局	390	金井達雄
総務	450	竹内千草

・2010年度役員

会長	005	大隅楠夫	（留任）
副会長・会計監査	018	坂東正朗	（留任）
事務局	624	阿久津省一	（**新任**）
総務	603	氏家友枝	（留任）
	419	村上あい子	（**新任**）
会計	619	祖父尼倭子	（留任）
ダイビング計画	427	木村満男	（留任）
安全潜水	310	戸塚明夫	（留任）
広報	194	鈴木征男	（留任）
	648	江藤征雄	（留任）
	682	渡里　喬	（**新任**）
関西地区担当	406	立木博信	（留任）

退任役員挨拶／新役員紹介

2年間お疲れ様でした！

◎旧副会長・事務局担当　390　金井達雄

私の事務局担当は、一昨年の6月に坂東さんより事務局を引き継いで以来、担当の業務が少し分かり始めた9月に肺癌が発覚、事務局に坂東さんの再登板をお願いし、12月に手術とその後の養生で殆ど半年は担当の仕事が出来ず、また、現役の仕事で忙しいことに加えて生来の粗忽者のため数々の事務的ミスもあり、皆々様には大変ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。今回の総会で報告があったように“SDCの会員は益々高齢化しています”加えて初心者の入会もあり、今後SDCの安全なダイビングを維持するためには、各自の技術と体力に合ったダイビングを考える必要があると思います。また、その手助けとして賛助会員の協力が大いに期待されることとなると思います。 皆様今後とも安全で楽しいクラブ・ライフを続けるように致しましょう。

◎旧総務担当　450　竹内千草

SDCあっての私のダイビングライフなので、会のお手伝いは自分のできる範囲でやらなければと以前から思ってはいました。2年前に総務をお引き受けしたものの、正直言って少々重い役でした。会長に手助けしていただいてなんとかやったというところです。「新年会」「総会･懇親会」は総務の大事な仕事ですが、会の終了後は、「会長の話を皆さんしっかり聞いてくださったかしら?」「お料理はどうだったかしら?」「新しいダイビング仲間に出会えたかな？」「探していたツアー情報がみつかったかな？」「出席されたみなさんに楽しんでいただけたかな？」「賛助会員の方も収穫があったかしら？」などなど考えてしまいます。日ごろ役員会で、どうすれば前回より良い集まりにできるかと話し合っていますが、建設的なご意見をもっともっと会員のみなさんからも頂きたいとおもいます。ほんとうによい体験を2年間させていただいたと、今しみじみと感じています。ありがとうございました。

◎新事務局担当　624　阿久津省一

SDCに入会して4年になります。今まで現役だった為、会の行事には余り参加出来ずに来ましたが前事務局の金井さん幹事のツアーに参加した折、やっと5月には現役をリタイヤ。これからは時間持ちになり好きなことが出来ると話したところ、是非事務局をお願いしたいとの話がありました。事務局は私にとってはちょっと荷が重いのではと思いましたが、金井さん、そして、役員の方々からも全面的に協力しますという言葉を頂き、お世話になっている会に、なにかお手伝いが出来ればと引き受けました。精一杯頑張りたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

◎新総務担当　419　村上あい子

この度、総務のお手伝いをと言うことで5月初めに大隅会長よりお電話をいただきました。アナログ人間の私は大のPC苦手で、やっと、最近Eメールが打てるようになったばかりです。こんな私でも務まりますか?と伺うと、メールさえ出来れば大丈夫ですよ！とのお言葉で、決心しました。そもそもSDC入会のきっかけは、マブール島で大隅会長御夫妻と偶然出会い、お勧め頂いたことです。入会以来どれだけ楽しませて頂いたことでしょう。もうそろそろSDCの会員として、何かお役に立たなければ申し訳ないという思いで、役員を引き受けさせて頂きます。諸先輩の御指導を頂きながら全力を尽したいと思っています。皆さまの御協力宜しくお願いいたします。

◎新広報担当　682　渡里　喬

広報の鈴木さんとロッシュリーフで同室になり口説かれて、今回広報の役を引き受けることになりました。2年前にダイビングを始めすぐにSDCに入会して、やっと100本を超えたところです。大部分はSDCの皆さんとご一緒させてもらい、道具の片づけ方、潜降のやり方等々、1から教えて頂きました。ボケないうちに何かお手伝いできることがあればと思っていました。皆様のご協力、ご支援を頂き、頑張りますので宜しくお願いします。

総会・懇親会に初参加して

621　杉崎　節子

SDCに入会させて頂いたのは、今から3年半前でした。今まで新年会、総会には参加できませんでした。年齢的（74歳）にそろそろダイビングは無理かなと思っていましたが、この度、総会に初参加させて頂き会員の皆様のパワーに触れ、まだまだがんばろうと思いました。今後とも宜しくご指導下さい。

713　福間　百合子

去年入会させて頂きましたが、ツアー、新年会等なかなか参加できず1年が過ぎてしまいました。

総会も途中からの参加になりましたが、来て本当に良かったとすぐに思いました。懇親会では、お世話係りの方が居て色々気配りして下さったり、知り合いがいないと言う不安もすぐに消えて皆様と打ち解けて、楽しいダイビングの話しが聞けました。

そして私より遥かに先輩の方々の溌剌とした姿勢に生きる勇気（大げさですが）を沢山貰いました。今年こそツアーやその他の催しに積極的に参加してもっとSDCに打ち解けたいと感じた一日でした。是からも宜しくお願い致します。

725　堺　孝興

今年4月に入会し総会に出席しましたが、予定があり懇親会パートⅠまでの出席で、感想文を書ける程の交流が出来ませんでした。年齢も75才でこの一年間潜っていないと何となく行動力がなくなっていましたが、会場での写真に刺激され、会員の方の話を聞くほどに潜る意欲が出て、早速モルジブクルーズに参加することにしました。これまで一人旅のダイビングでしたが、やはり、趣味を同じくする方と行動を共にすればより楽しめると感じて帰りました。これからはSDCのツアーに参加していきます。会員平均年齢を大きく上回っていますが、体力的には自信があり、同行者に迷惑を掛けることは有りませんので一緒に楽しんでいきます。

728　込山　和久

この度、SDC総会・懇親会に初参加させて頂くことが出来、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

皆様、私より相当年上なのに年齢を感じさせないバイタリティを逆に感じ取る事が出来ました。そして、体験豊富な知識・経験に只々あらためて驚くばかりでした。また、皆様優しくてこれからの参加、同行が楽しみです。何とか足手纏いにならぬ様、努力、スキルアップしようと改めて思いました。

729　荻野　寿子

総会、懇親会に参加させていただき、ありがとうございました。私も、動画を編集したりするので、スライドショーを拝見するのを楽しみにしておりました。色がきれいで、音楽も解説もとても良かったです。総会では、会員の方の現状調査報告を興味深く拝聴いたしました。懇親会では、皆様の海外体験のお話をとてもうらやましく伺いました。まだまだ初心者の私ですが、意欲はいっぱいです。どうか、宜しくお願いいたします。

返信はがきより

海で待ってます。

来年４月まで沖縄で過ごします。何度も訪れた沖縄ですが、住むとまた別の感覚です。再び学生をしながら、ゆっくり広い沖縄の海を潜ります。
417　豊田　映子

志津川で水温５度を経験しました。手がかじかんで、私には無理かも知れません。ダイビングはやっぱり暖かいところがよいです。 504　伊藤　久海子

昨年から今年にかけて何度か参加させていただきました。とても楽しく仲間作りができました。 580　山下　一朗

５月９日に出発し、６月８日まで１ヶ月間、パレイシアホテルに滞在して、DayDream でパラオの海を満喫してくるつもりです。 641　今枝　淳平

SDC ツアーは海外の遠くが多く、近場のサイパンやジープ島、沖縄もクロワッサンアイランド(水納島)等、近いツアーを希望します。 669　山嵜　由江

６月 18 日からの紅海ツアーに申し込んだ時に SDC クラブがあることを知り、私の希望していたクラブでしたので４月に加入致しました。 727　内藤　季完

入会して３年。潜ったことのない海を目指し、海に親しむ充実した生活を送っています。SDC にめぐり会ったことに感謝します。 674　内芝　範子

今年８月ニューカレドニアでのダイビングを予定しています。３年ぶりに潜るブランクダイバーなので、ドキドキ…です。短期の旅行なので、今回はタンク２本のみにします。 675　小栗　豊二

２月の No.1007 スミランクルーズ、４月の No.1004 ドゥバタクルーズ、６月の No.1006 パプアニューギニアと SDC のツアーに参加させてもらい、すご～く楽しかったです。海の虜になりました。 692　石森　淨

今年のダイブスケジュールも整い、エアロビクス、自転車、まち歩きなどで体力維持に励んでいます。 694　堀井　紀子

昨年末に SDC 入会、今年２月末フィリピン・セブにて初めての海外ダイビング体験。今年は海外で潜りまくろうと思っております。 719　秋本　正之

４月入会後、初めのダイビングは「メナド・スローダイブ」で楽しみにしております。その後もできるだけ、計画ツアーに参加させて頂く積もりでおります。
723　田中　彰

5/10～15、ボホールツアー、人生初めてのサンゴ礁ダイビングでした。 672　香村　文泰

ちょっと、一休み

おかげさまで元気に生きています。近々転地の予定があるため、毎日忙しく荷造りに追われている状態です。三島の山の中へ越しますが、年内は船橋と三島の往復を繰り返すこととなりましょう。
12　関川　清一

SDC の皆様に：長い間大変お世話になりありがとうございました。近頃はすっかり海が遠ざかり、躰に会ったハワイ生活が多くなってしまいました。皆さん、どうぞお元気で。
270　河原　信子

頸椎を痛め、冬眠に入っておりましたが、思わしくなく、次は夏眠に入ります。早く海に潜りたい！　207　大石　詔子

アキレス腱が切れ、入院しておりました。もう快方に向かっております。早くダイビングがしたいです。
74　藤井　泰代

潜りたくても雑用多く、少し欲求不満。PC にある水中の写真を見て、潜った気分です。 665　丸林　恵造

公認ツアーレポート

石垣島ツアー報告

（ツアー No.1014　2010年5月18日～24日）

レポート　006　大隅　照子

＜参加者自分だけのツアー＞

新会員さん等から「参加出来るツアーが少ない」の声を耳にしたので、この際私も少しは役立とうかと久し振りに公認ツアーを出しました。

「新しい仲間を求める」が目的のツアーです。ところが、待てど暮らせど問合せも希望もありません。結局、応募者は零でした。

同じ時期、私が世話人の『散骨を語る会』は満員御礼となりました。この差は何だ？「あんたは散骨に向いてるのよ」と聞こえてきます（笑）。

もう10回以上になる石垣、何度か1人で行ってるので寂しさはなかったですが、どうして新人さんに参加してもらえなかったのかを分析しなければ…

(1)　現地集合解散に抵抗があった。
(2)　日本はまだ水温が低いと思った
(3)　先ずは海外に憧れる人が多い
(4)　リーダーがどうも気に食わない

等考えました。

(1)以前も個人ツアー（海外）で「アクセスは各自手配」として実施した事があります。

その結果、参加者から今迄おんぶにだっこだったのが突然自分で手配しなくてはならなくなり困りました。でも頑張ってやって良かったです。これからの自信に繋がります。とのコメントを頂きました。せめて国内では現地集合解散が当たり前になる日が来るのを期待しています。アクセスの仕方は幹事が丁寧に教えてくれます。それでも不安だったら幹事と一緒に行けば良いのです。

(2)水温は25度～26度で寒くなかったです。

(3)日本にも良い所は一杯あります。

まぁそんな事より最初はSDCメンバーさんと親しくなる方を優先した方が長続きするのではないでしょうか。

(4)こればっかりはしょうがない（笑）、自分に磨きをかけま～す。

私1人にガイド2人と言う贅沢なダイビングを堪能してきました。沖縄は雨続きでも石垣は晴れ続き、空いているペンションに空いてる海中、ツアーにはなりませんでしたが個人的にはめったに出来ない我儘ダイビングができて満足しました。

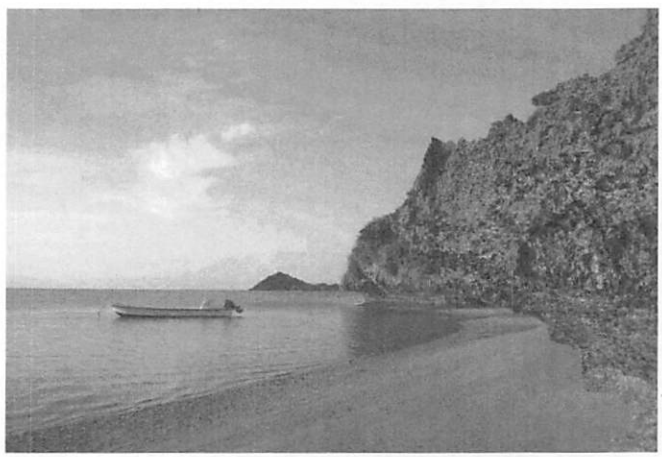
SDCには毎年何人も新入会員さんが入ってきますが、黙っていてはそのまま、結果的には退会へ、となるケースもあります。是非自ら前向きに色々な会に参加して自分の居場所を探して下さい。

ガイドの洋平さん手作りのコンデジ用外付けクローズアップレンズが静かなブームを起こしています。オーダーメイドで30倍に撮れます。しかも安いんです。関心ある方は問合せを…私は回し者ではありませんよ（笑）。

＜アクアガーデンのガイドで賛助会員の社領洋平さんより＞

アクアガーデンでは大隅様のようにお一人様でのお申し込みもO.Kです。大人数ではなく少人数での目的別（今回はフォト＆マクロ生物で）のガイドを目指しています！少人数で気ままにダイビングを楽しみましょう！

今回も大隅さんと潜って楽しかったですよ。



ダイビングショップ＆ペンションの「アクアガーデン」から徒歩3分、こんなステキな海に出ます。夕日もすばらしい！

個人ツアーレポート

伊豆の春にごり

（2010年3月23日～24日）

603　氏家　友枝

昨年暮れにドライで城ヶ島・安良里を潜って、思い切り水没させてしまい、そのせいか風邪を引いて、それがなかなか治らず（年のせい?）、もう寒い海はしばらく止しておこうと思っていました。

3月中旬にスミランクルーズから戻って、器材の整理をしている内に「伊豆の海を潜りたい症候群」に取り付かれて、思い切って簡易修理のドライスーツを車に積み込み安良里の海へと出かけました。

3月23日、連休明けとあってTATSUMIの客は私一人。申し訳ないやら、嬉しいやらで、ガイドのタケさんとマンツーマン。最初のポイントは黄金崎公園ビーチの「黄金崎ホール」（新しいポイント）です。透明度は来る前から悪いのは承知していたのですが、本当に悪い！　大まけにおまけして3～5mというところか。その上に水温が13℃！勿論フード着用、完全防備で潜ったのですが、顔が海水に触れるとまるで氷水に浸かったよう。あまりの海中環境の悪さに笑ってしまいました。が、SDCのレディボーイを自負している私。どんな環境でも元気に楽しく潜るがモットーです。

ホールまでタケさんを見失わないようしっかりそばにくっついていきました。ホールは、もう少し透明度がよければ小型の「青の洞窟」「ミニ通り池」と言っても過言ではない、いや、過言かな。とにかく思ったより良いポイントでした。

その後、どうせ見えないのだからと、タケさんにお願いしてコンパスナビを練習しました。講習以来、コンパスをちゃんと使って潜るなんてことは無かったので、すこし緊張しながら、私がタケさんをガイドしました。でも黄金崎は波紋を見ているだけで岸に行くことができ、コンパスはそれほど必要ないことも学びました。ついでといっては何ですが、フロートの揚げ方も講習してもらいました。フロートの紐の編み方まで教えてもらい、大いに役立ちました。

濁っていても（濁っているからこそ）海の中はにぎやかでした。まずサビハゼの雄が、産み付けられた卵をしっかり守っている光景はとてもほほえましいものでしたし、ハナタツやウミウシ、大きいところではヒラメの舞など楽しい海でした。そして、なんといっても圧巻はスミイカの産卵光景。始めから終わりまで目の前でしっかり確認できました。

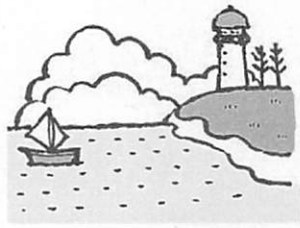
手足（?）を上手に使い、卵を砂にまぶしてから枯れ枝に産み付ける、その一連の動作がなんとも感動的でした。カメラを持たずに入ったので感動を写真でお伝えできないのが悔しいです。でも寒かった！

翌日は濁っているのをものともせず、ボートで「沖の根」へ。船頭さんはTATSUMIの親方。やっぱりタケさんと二人だけの贅沢なダイビングでした。透明度は5mくらい。お世辞にもきれいとはいえなかったし、海中は暗くてナイトダイビング状態。ライトを点けて潜ったのですが、寝ているブダイや全身を出しているコケギンポなど、暗い海ならではの見ものがあり、興味深いダイビングができました。そして、出ました、トビエイ！見上げると少し明るくなったのか、薄い膜を通して見るような感じで、これはこれで又美しい風景でした。

2本終わってお昼は自家製のラーメンでした。冷え切った体に熱いラーメンは何よりのご馳走で、美味しかった！

伊豆フェチの私としては、濁っていようが、冷たかろうが、もぐっていれば楽しいのですが、さすがにこれだけ悪いと友人を誘ってというわけにはいかず、本当は一人きりのお客でTATSUMIには迷惑だったろうと思いますが、そんな素振はこれっぽっちも見せず、にこやかに対応してくれたスタッフに感謝しながら、帰りました。

寒いのが我慢できる人なら、伊豆の海は一年中面白いところだと思いますよ。暖かいリゾートだけという方が多いようですが、たまには思い切り透明度の悪い冷たい海にもぐってみてはいかがですか。見たことのない光景に出会えること請け合いです。



個人ツアーレポート

粟国島ダイビングレポート

（2010年4月20日～26日）

648　江藤　征雄

沖縄でギンガメアジの大群が見られる粟国島に以前から行きたいと思っていたが、仕事を続けている関係で、思うように日程が確保できず我慢してきた。4月に入り仕事が一区切り付いて、4月下旬に1週間程度休みが取れる見通しが立った。

早速、飛行機・船・宿・ダイビングショップの手配を行って、4月20日から1週間の粟国島行きとなった。那覇の北西約60kmの海上に、ぽつんと浮かぶ粟国島は周囲12km、人口約850人の小さな島で、1999年12月公開の映画、79歳のおばぁの恋物語「ナビィの恋」のロケ地として知られた島である。

○行きは船、帰りはBritten-Norman Islander機

粟国島へのアクセスは船と飛行機があるが、今回は船を利用することにし、東京から予約を入れたところ、その必要はありませんとの返事。5月の連休前の平日でもあり、乗船したら席はガラガラ。総トン数450トン、定員270人乗りの船内は広く綺麗で、快適な船旅が出来た。運行時間は那覇の泊港発9時55分（所要時間2時間）。行きは通常通りの運行であったが、粟国行きの船は海況により運休することが多く、当日朝、港の事務所に確認が必要となる。帰りは海況ではないが、スクリューにロープが捲き付くトラブルが発生しドック入りとなり4日間欠航した。お陰でSTOL性能に優れ、離島間運行に適したイギリス製のブリテン・ノーマンアイランダー機に乗る機会を得た。

双発のプロペラ機に乗るのは20年振り。アイランダーはパイロットを含め10人乗り（5列×2人）で、運が良ければ副操縦席に座れ、絶景が楽しめると聞いていた。しかし、乗客の体重を全員測定し、前後、左右の荷重バランスをとるため、体重により席が指定されることが判明。残念ながら真中の列になってしまった。又、飛行機に積み込める手荷物は合計で10kg以下。離陸時、ほんとに飛べるのかな？と、心配になるような可愛い飛行機であったけれど、那覇空港までの20分間、小型機から眺める光景はもちろん、エンジン音、機体の揺れ具合も新鮮で、大型機では味わえない空の旅をすることが出来た。

○粟国のダイビングスタイル

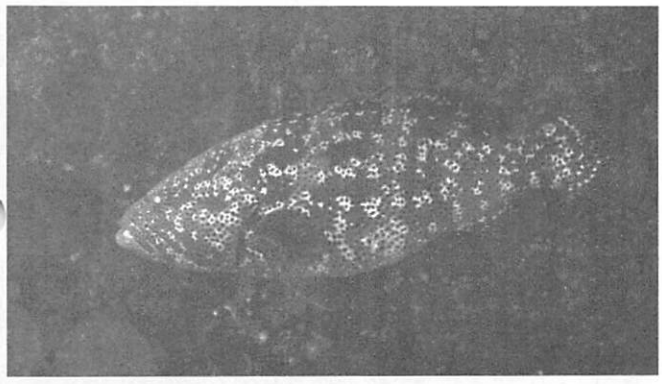
粟国島は、おむすびのような形をした島で、内海のような場所はないため、島から少し離れればそこはもう外海。エントリー出来るか否かは海況次第。

漁船タイプのダイビング船が出る港は、今回利用したショップから歩いて5，6分。宿からは3分位の所に在るため、宿でウエットスーツを着て港に直行。10時に出港しポイントまで10分以内。午前1本潜り、宿に戻ってシャワーを浴びて着替え、昼食を取って、のんびり部屋で昼休みをしてから午後1本。3時頃帰るのが標準パターン。器材を洗い、シャワーを浴びた後、海を眺めながらビールを一杯。まだ十分時間があるので、歩いて行ける「ナビィの恋」のロケ地まで散歩。

ゆったりとした時が流れる。ショップのガイドが言った、「粟国タイムは1日36時間」！を実感。

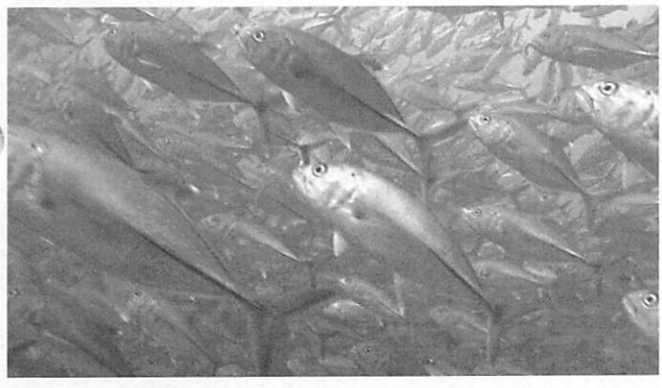
○強盗を働いたことがある「ヤイトハタ」

ギンガメアジの大群が現れる、島の西端にある有名なポイント「筆ん崎」は、うねり、流れが強く2日間お預け。3日目に天気が回復したのでやっと行けることになった。午前の1本目、ポイントに到着。流れがあるが、何とか潜水出来るレベル。ギンガメアジを求めて目的の根に向う。途中、体長1ｍ近い「ヤイトハタ」に出会う。ガイド曰く、以前タコを捕まえて手に持っていたところ、このハタが咬みつきタコを強奪。おまけに手も咬み、血がかなり出る程の傷を負い、今も傷痕が残っているとのこと。



今回、生き物は持っていないが、あまり近づき過ぎないようにしてパチリ。フラッシュが届かず、くらい写真になってしまった。その後、イソマグロ、ナポレオン、ロウニンアジに出会うが、ギンガメアジの大群には会えず、午前の部は終了。

○銀色に輝く「ギンガメアジ」の大群



午後、2本目も「筆ん崎」へ、午前に比べ流れが強くなっている。どうしましょう頑張りますか？とガイドが聞いたので、流れの強いところは経験しているので、行きましょうと答え再チャレンジ。

ロープ潜降をするため、船首を目指すも海面近くは流れが強くて近づけず断念。船の直下（水深10ｍ程）にクイック潜降して、海底の岩を摑みながら移動する方法に変更。海底の流れはそれほど強くなく、時々岩に摑まる程度で移動可能であった。しばらく移動＆潜降して、根と根の間が谷のような地形のところに近づいた時、ガイドが指差しをしているので、その方向を見ると、巨大な塊の魚の群れが向かって来る。待望の粟国のギンガメアジである。見る見る内に近づき、あたり一面ギンガメアジの壁が出来る。

谷のような所を埋め尽くし、刻一刻と形を変えながら、私達の周りを取り囲むように、次から次へと湧いてくるような光景は、パラオのブルーコーナーを上回る大迫力であった。岩に摑まりながら、しばし呆然。魚の体色がパラオで見たギンガメアジよりも明るい銀色をしていたので、ガイドに聞いたら、春先は明るい銀色で、日が経つとだんだん黒ずんでくるとのこと。とにかく、会えて良かった！

○エキジットは「コイのぼり」の如し

ギンガメアジを満喫し、エキジットとなる。船の係留ロープへ岩伝いに近づくと、流れが強くロープは棒のよう硬くピンと張っている。ロープを伝って5ｍの安全停止位置まで浮上。シュノーケルはブルブル震え、体は流され45度ぐらいの角度が付く。まるで「コイのぼり」のようである。5分間の安全停止時間中、船の梯子へ如何に摑まるかの算段をする。流れに乗って飛び付くしかない。ガイドに先に行ってもらい、梯子の所で待っていてもらう。安全停止時間が終了したので狙いを定めて、ロープから手を離し、流されながら梯子をキャッチ。やれやれ一安心。ガイドにフィンを外してもらい船上へ。

ガイドも今年ギンガメアジに会ったのは、今日が初とのこと。その夜はショップで打ち上げ、新鮮な本マグロやイカの刺身＆泡盛で乾杯！

翌日はレンタサイクルを借りて、のんびり島巡り。粟国タイム（1日36時間）を満喫。

○参考情報

①利用宿泊施設：民宿「風月」：粟国港のすぐ近く。
バストイレ付（和室）1泊3食6000円
（1室2～3名、オフシーズンは1人でも同料金）
部屋は普通だが清潔感あり。1Ｆシャワールーム2室。
洗濯機＆洗剤使用無料。
物干し場あり（器材干しもOK）。

②利用ショップ：「ダイビングハウス粟国」
代表：大城　昭氏
料金：（6000円／1ボートダイブ）×本数
大城氏は粟国生まれ、粟国の海を熱く語る好人物。船長＆スタッフ2人も面倒見がよく親切。
エアタンクの充填設備はしっかりしているが、ショップ外観、周囲の整理等見てくれには無頓着。大世辞にもビューティフルなお店とは言えない。（但し、粟国では普通の感覚かも知れない）

③粟国でギンガメアジを見ることが出来る時期。
4月下旬～8月頃迄の間は確率90％ぐらい。（但し流れが強いと海に入れない）

公認ツアーレポート

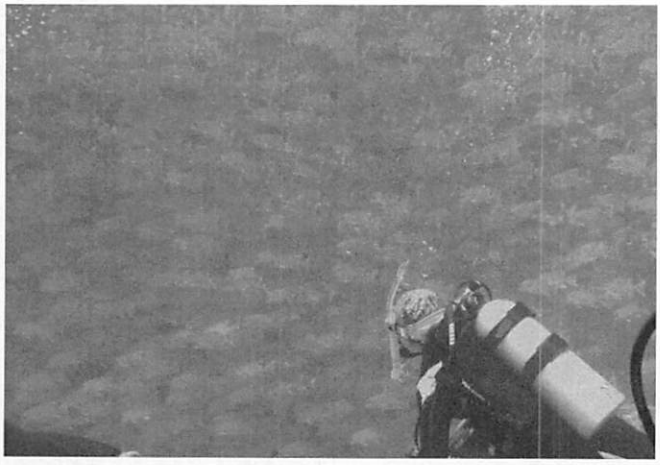
ペリリュー島 ～至福の群れ群れ三昧！～

（ツアーNo.1003　2010年4月8日～14日）

幹事　026　良縁寺　悦子　　レポート　378　西村　麻美

2008年7月号会報のペリリュー島のイレズミフエダイ大群のレポートと写真を目にして、「いつか絶対！」と心に決めていたので、良縁寺さんの「イレズミフエダイ狙い」と書かれたツアーに、即、飛びついた。お蔭さまで、2年越しの念願だったイレズミフエダイのものすごい大群に会えることが出来ました。ツアーを出してくれた良縁寺さんに感謝！

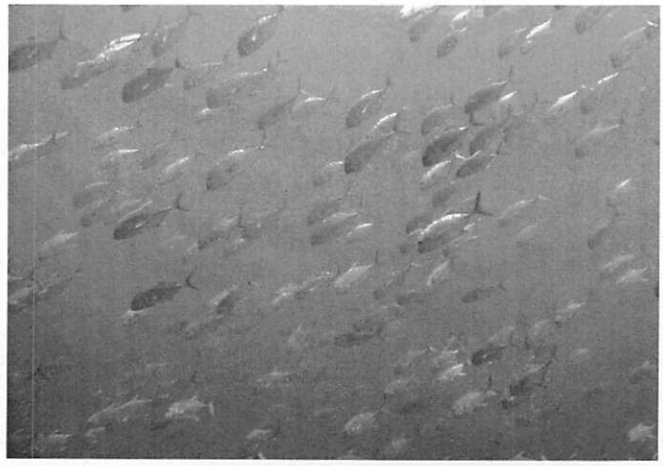
グアム経由パラオで1泊。翌朝、デイドリームの船で、ペリリュー島へ。メンバー8人の事前のデータと幹事の太鼓判から、チェックダイブ不要と判断されて、1本目でいきなり、イレズミフエダイ狙いで30ｍの深場へ直行。そしてすぐにイレズミフエダイの大群に遭遇！なんて無駄のないダイビングなんでしょう。



イレズミフエダイの群れ（氏家さん撮影）

ペリリュー初心者の私とNさんが、この群れを見つけていきなりダッシュ。でも、ガイドの遠藤さんから「戻って来い」の合図。後ろ髪を引かれながらもガイド氏に付いてゆくと、そこには更にもっと大きな群れが大きくカーブを描きながら、更に大群に変貌しながらドロップオフを埋め尽くそうとしていた。すご～～～い！その壮大な光景に、唖然、ぼう然、興奮。高揚した気持ちでさあ、浮上して安全停止、と思ったら、なにあれ？まさかロウニン？あんなに群れててもロウニン？ギンガメじゃなくて？まさかのロウニンアジの大群だった！自慢じゃないけど、600本以上潜っているけど、ロウニンアジの大群を見たのは初めての経験だったから、またもここで興奮してしまった。すごーい！あとで良縁持さんから、ガイドの遠藤さんは、ただ群れを見せるだけでなく、見せ方まで考えたガイディングなんだと聞かされて、今後は、勝手に突っ込まないで、信頼して付いていこうと決心した。

2日目は早朝、6時30分エントリー。大きめで横線模様のカマストガリザメが、このイレズミフエダイの大群の中に突っ込んでゆくスペクタクルショーを見ることができた。そしてイレズミフエダイの群れは、昨日よりも更にその数を増して、超大群となり、少し高みから見ると、まるで海全部を覆いつくしているようなイレズミ大平原に、言葉も出ず、ただただ感動していた。浮上途中にはまたもロウニンアジの大群。どうやらここの定番のようで、ペリリューってなんと贅沢なポイントなんだと、あきれるやら感心するやら。



ロウニンアジの群れ（氏家さん撮影）

2日目の2本目から、ガイドは若い加藤さんに代わったけど、遠藤さんの後をついで、イレズミフエダイの大群をしっかり見せてくれた。しかも、このときはスポーニーといわれる放精放卵の大爆発で、群れの中から1匹のメスが登ると2～3匹のオスがくっついてあがってゆくというシーンがあっちでもこっちでも見られて、気のせいではなく海が白く濁ったほどだった。しかもそのあとロウニンアジの群れが、イレズミフエダイの大群の中を横切って行った。し・あ・わ・せ！

ほとんどの人が12本潜って、軟弱ダイバーの私は10本。でも、そのうちイレズミフエダイ大群に会ったのが8本、ロウニンアジの群れに会ったのが9本。そして、ラストのダイビングでは、カスミアジの群れをリクエストして、ほんとにカスミアジの群れにばっ

昼食風景

野崎さんとケーキ

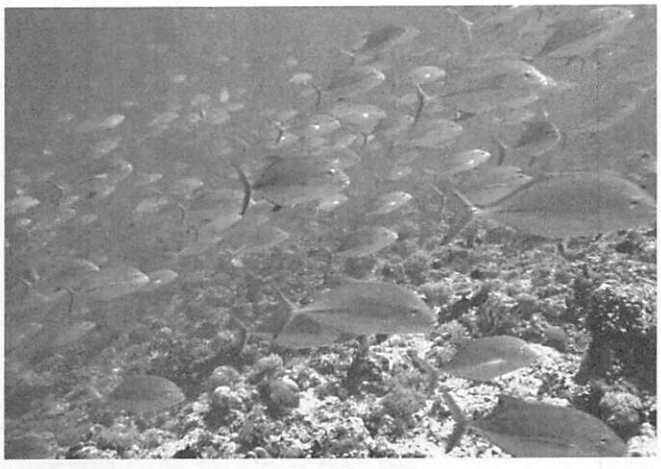
たり会っちゃった時にはおもわず心の中でガイドの遠藤さんに拍手！

他に見られたものは、グレイリーフシャークがたくさん、でかいブルーシャーク、イッテンフエダイ群れ、ヤイトハタ、タイマイ、マダラトビエイ、ナポレオン、キツネフエフキ、モンガラカワハギ等々。イレズミフエダイは世界中からスポーニーのためにここに集まってきて、新月にはどこかに行ってしまうそうだが、カスミアジの群れは新月頃から始まってこれも約1週間ほどの期間限定の群れだそうだ。

そしてこの時期、ペリリューはダイバーで満員状態になる。宿も、人気の宿は一年も前から埋まってしまうそうで、今回の我々の宿は、港の真ん前というロケーションは良いのだが、残念ながら、洗い場がないとか、熱い飲み物が飲めないとか、いろいろ不満の残る宿だった。

でも、野崎さん600本達成！デイドリームのアルバイトスタッフの安藤さんがチーズケーキを作ってくれた。おめでとう！そして、ごちそうさま！美味しかった！

ショップの対応も良く、ダイビングに関しては大満足！イレズミフエダイは毎回必ず会えたから、会えるのが当たり前のようだけど、実は当たり前ではなかった。デイドリームの地道なリサーチによって、時間によって移動する群れの動きを正確に捉えてのガイドのおかげだったのだ。ペリリューのほかのショップではこうはいかないかもしれない。そして、私達もガイド氏から、全員のスキルが、ちゃんとイレズミフエダイを見せられるスキルであったことを感謝された。イレズミフエダイはだいたいが30ｍ以上の深場だ。1日3本潜って3本とも30ｍを超えていた。当然、DECOも出た。しかもカレントが複雑で、ガイドも緊張していることと思う。ダウンカレントの作る小さな「海の竜巻」にもはじめて遭遇した。



カスミアジの群れ

ペリリューにさよならする日、Ｒさん、Ｓさんの部屋の前で、すっかり飼い犬気分になっていた野良犬たちが、私たちの乗ったコロール行きの船が動き出したら、なんと、陸地が切れるところまで、一所懸命に走ってずっとボートを追いかけてきたのには驚いた。Ｒさん、Ｓさんはすっかりウルウル状態。まるでドラマのようだった。

女ばかり８人の気楽さで、良く食べ、良く飲み、良くしゃべって、ちょっとかしましすぎたのではないかと、ちょっと反省もしてみるけど、なにしろ毎日が楽しくて、海の素晴らしさが更にテンションを高くして、多少の天気の悪さも帳消しにして、本当に良いツアーであったと、幹事の良縁寺さん、同室で気を使ってくれたＹさんをはじめ、楽しいメンバーに感謝！すごいシーンをいっぱい見せてくれたガイドの遠藤さん加藤さんに感謝！ついでにイレズミフエダイ、ロウニンアジ、カスミアジにも感謝！しておこう。

２人のガイドさんと記念撮影

参加者

026 良縁寺悦子　342 山口知子　357 佐藤道子
378 西村麻美　413 野崎光子　450 竹内千草
603 氏家友枝　685 池田しのぶ

公認ツアーレポート

トゥバタハ・ダイブクルーズ

（ツアーNo.1004　2010年4月9日～15日）

幹事　508　安積　信　　レポート　610　白松　礼子

1993年フィリピン初の世界遺産に登録された「トゥバタハ岩礁海中公園」、スルー海の真ん中に北と南の小さな珊瑚礁とそのラグーンが名前の由来らしい。海洋生物の宝庫で4月から6月までの3ヶ月限定の海である。成田から5名と関空から11名（添乗員兼インストラクターとしてエアーワールドの社長・二宮さんが同行）の16名の参加である。その内、2008年4月のトゥバタハ参加者7名は台風で2日しか潜れなかった為「リベンジでござる！」と意気込んだ。

＊行程＊

初日はマニラで成田組・関空組合流。夜は舞踏ショーディナーで乾杯。5つ☆ダイアモンドホテルで快眠。翌早朝、マニラ空港よりプエルトプリンセサへ飛んだ。ボルネオ・エクスプローラーに乗船しトゥバタハへ。

ボルネオ・エクスプローラー

3～6日はNORTH & SOUTH A TOLLで計15本のダイビング。7日目はマニラ経由で帰国。

＊船室と食事＊

船室は様々なタイプがある。大別するとWサイズのベッド1個の部屋と2段ベッドの部屋である。2段ベッドの部屋も上がSサイズ、下がWサイズで部屋の模様も様々。2段ベッドの上段（身体を支える枠無し）から船の揺れで落下した時の対策なのか、下段のWベッドは半分未使用状態。「誰か落ちた人いませんか？」冗談に聞いてみたが「無意識のうちに落ちない姿勢になる」と仙人多数のお言葉。

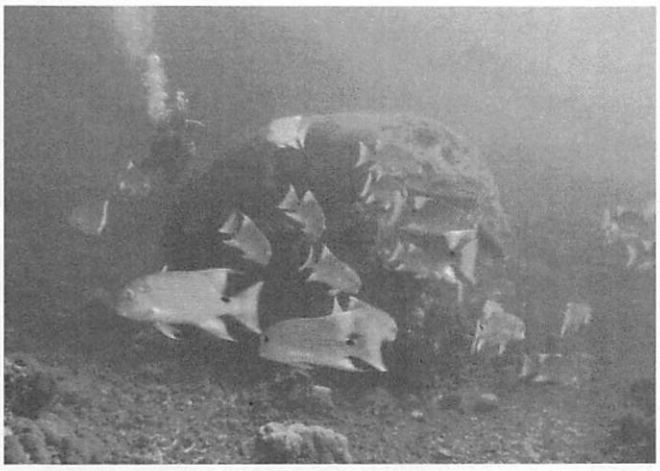
ははあー！エアコンがある部屋、広い部屋、日中冷房の効かない部屋、色々あれどトイレ・シャワーは皆同じ。良かったよかった。私はこれが一番大事。湯の出も良く快適至極。

食事はビュフェスタイル。肉、魚、野菜とフルーツ、アイスクリーム。毎日まぐろのさしみがでる。現地のガイドは、わさびたっぷりで楽しんでいた。離乳食かと思うヌードルスープ、揚げ物も多い。同じ物が多いせいか飽きてくる。日に日に、新鮮野菜が食べたあーい！トーストが美味しくなり、持参の酒のつまみの重要性が高まる。ビール、ワイン、焼酎、これがあれば万々歳の御仁もいるけど。毎夜、飲み、しゃべり、話題は尽きずビールは進む。はぐれて別のボートに助けられた時、自分の船名を覚えておく事。流された時、無理に壁側に近寄らず自然に流された方が安全という場合もあるとか…色々、お知恵拝借の時間でもある。

＊ダイビング＊

ボルネオ・エクスフローラ号のメインデッキは左右の鉄板を広げダイブデッキに早代わりする。レッドとブルーのボートが器材スタンバイで待ち受ける。クルーたちは超ステキな笑顔とホスピタリイ精神に溢れ気持が良い。Aチーム8名とBチーム8名は左右に分かれ、終始ガイドもポイントも違う2部隊である。私はBチーム。毎回、「右側ドロップオフで流します」「今度は左側ドロップオフね！」の英語と日本語ちゃんぽんの簡単なブリーフィングがある。（日本人スタッフはいない）毎回、ドリフトのWall Diveである。350種の珊瑚、600種の魚、11種のサメ、タイマイとアオウミガメという海である。観る物に事欠かないが、海側を眺め＜大物狙い＞のBチームは2日間当たりが来ない。海が穏やかで流れがない為か…宴会時、Aチームの「ギンガメー！タイワンカマスー！」の歓声に「そうかい、そうかい」と乗れないもどかしさ。とは言え、ホワイトチップ、クダゴンベ、アオマスクその他を充分楽しんだ上の事。3日目の南珊瑚島に移動した3本目、やっと「ギンガメアジの群れ」に遭遇。カメラの腕を押し出して追っかけの勇ましさ、楽しさ！追ってのロウニンアジに翻弄されるタイワンカマスもぐるりと我々を取り巻く。

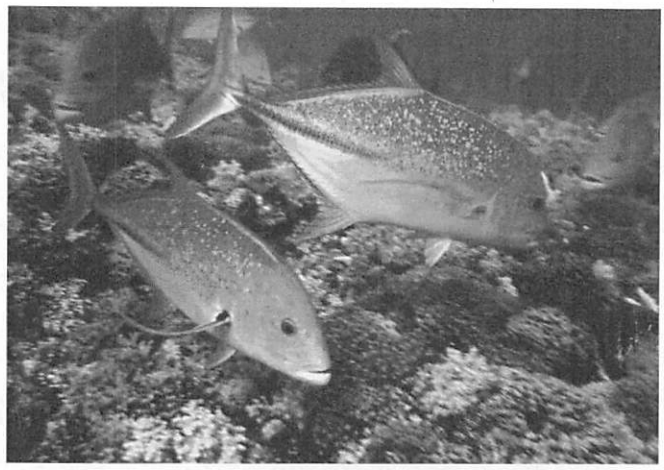
２日間４本目は潜らなかった私はこの日何やら予感有り。４本目は南端の「Staghorn Point」ダイビング参加者３人（河合、土井、白松）残り５人は早くもビールに走った！！（何でやねん！）予感的中！エントリー直後、目の前に５匹のカメが珊瑚の上でのんびり午睡。そして、なだらかな珊瑚の丘が続く先に次々と群れが登場した。大きなカスミアジの群れに驚き、次いでギンガメの群れ、並走するロウニンアジ、イソマグロ（海の中で刺身で食いてえのポーズは河合さん）。おまけに、「イレズミフエダイ」の群れまでお出ましーでござる！



イレズミフエダイ

体長60㎝青と黄色の縦じま、通常は数百メートルの水深に住み、３月～５月のある決まった時期だけ繁殖の為上がってくるというパラオの季節限定の魚「イレズミフエダイ」。何ゆえトウバタハにおじゃるのか…ま！理由はどうでもよろし！カメラ、カメラー！巨大なモヨウフグはイレズミフエダイの群れの中でポーッと口を開け漂う。

中型ナポレオンフイッシュも現れ、Youngのカスミアジはイソイソ寄り添う。



カスミアジ

寄れば大樹の影、DNAの為せる技？「魚の生き方色々よー」と見せてくれる。イレズミの群れは何回か旋回した後、目力込めた「顔見世興行」は遠ざかり「まってえー」の声も届かない。（後で調べたら14日が新月であった。イレズミフエダイはトゥバタハの何処かに毎年集結してるかも？ワクワク・ドキドキ）最終日14日はギンガメ集団が毎回登場。バラクーダ、追っかけ浪人（ロウニンアジ）から四方八方に飛び散るタイワンカマスのあねさん達に、ぐるりと囲まれる場面もあった。マグロも小グループでナンパしていた。今回、マンタやジンベエにはお目に掛かれなかったが、とにかくダイブクルーズは楽しい。

前回参加した方で、１人が亡くなり、２人が療養中と聞いた。シニアの誰もが密かに想うこと。時間は有るかもしれない、無いかもしれない。潜れる内に潜ろう！！そんな想いが又強く押し寄せる。

再度、トゥバタハダイビングの機会を下さった全ての方々と、共に時間を過ごして下さった仲間たちに感謝いっぱいです。有難うございました。

ルーフデッキに全員集合

参加者　15名

70　河合貞夫　406 立木博信
434 百瀬由美子　480 菅沼良次
508 安積　信　610 白松礼子
615 土居元枝　622 三吉清忠
635 木脇　学　644 門井久男
645 門井和子　678 足立公平
691 佐々木喜代子
692 石森　淨　706 稲井英子

公認ツアーレポート

ボホールツアー

（ツアー No.1011　2010年5月10日～15日）

幹事＆レポート　005　大隅　楠夫

参加者は、新会員が3名、私が一緒に潜ったことのあるのは1名だけ、お互いほとんど初顔合わせの8名のメンバーでした。

ダイビングサービス	GOOD DIVE SHOP
ホテル	BOHOL TROPICS RESORT
旅行社	エアーワールド

1.1日目

5月10日、関空から2名、成田から6名がマニラで合流して、夕方ほぼ予定時間通りにタグビララン空港に到着しました。GOOD DIVE SHOPが入っているホテルは、空港から車で5分位の所です。

ホテルに着き、徒歩3～4分のGOOD DIVE SHOPで明日からのダイビングの説明を受けました。

2.ダイビング・スタイル

GOOD DIVE SHOPは安全第一をモットーにして、次の様な特徴があります。

①エントリー＆エキジット：ダイバーはバンカーボートの舳先に座ってBCを装着、エア等の点検をする。先に海に入ったガイドが水面にいて、チェックする。横座り状態から、左手でボートを押しながらエントリーする（衝撃が少ない）。

必ず潜降ロープがあり安心して潜降できる。

エキジットは水面で機材をはずしてから上がる（大場さんの感想を参照）。

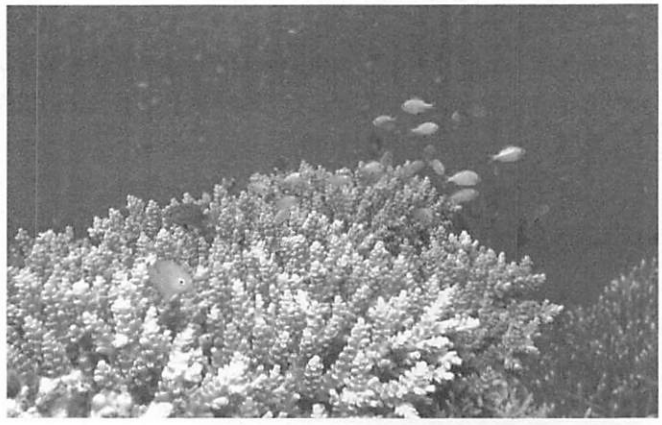
エントリー

②浅場のダイビング：水深18ｍ以上にはいかない。

③バックアップ体制：必ず後ろにバックアップガイドが同行し、ケアしてくれる。はぐれそうになったりトラブルがあった時には助けてもらえる。

3.ダイビング

1日目は近場のパングラオ島で水に慣れ、2日目にお花畑の様なカビラオ島、3日目はドロップオフの大物狙いでバリカサグ島とそれぞれ趣の異なる3か所のポイントを楽しむことが出来ました。バラクーダには会えませんでしたが、元気なコーラル・ソフトコーラルに群れる様々な魚達やコブシメ、エビ達に会う事が出来ました。



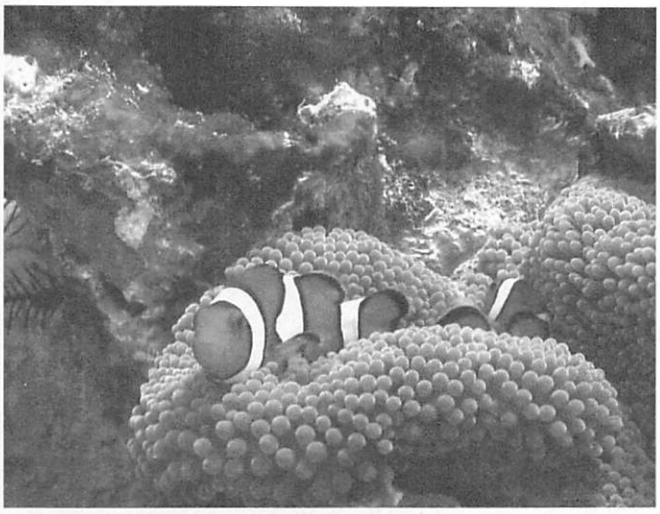
サンゴに小魚

ツアー初参加者の感想

(1)　672　香村文泰

あこがれ続けていたサンゴ礁ダイビングがやっと実現しました。私のダイビングとの出会いは22歳（昭和42年）の時でした。当時、私は飛行学生としてPILOTを目指し、双発飛行機で特訓を受けておりました（宇都宮）。そんな忙しい折、タバタがダイビングを普及するために造った4ｍプールで講習会を開講しているのを知りました。若さのパワーで約2か月かかって受講し、修了証をいただきました。その後タンク等一式を購入し、千葉、伊豆付近を100本ぐらいこなしたところで忙しさもあり中断してしまいました。

このたび、大隅会長のおおらかなご指導とダイビングの話をすると目を輝かせている若人？（特に女性陣）とご一緒させていただきました。また、超殿様ダイビングかつマンツーマンで教えていただいたGOOD DIVE SHOPの皆様のおかげで、大変楽しい思いをさせていただきました。ありがとうございました。



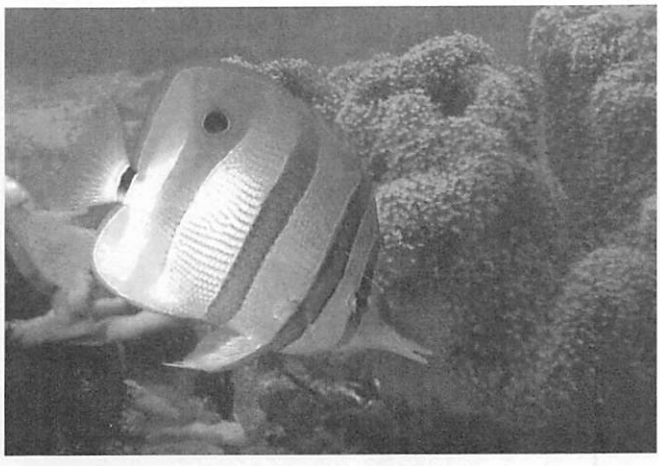
イースタンクラウウンアネモネフィシュ

⑵　709　宮原　亮

素晴しくて大満足でした。ファンダイビング4本の私には、最初のダイブは1年ぶりでしたので不安と緊張でしたが、GOOD DIVE SHOPスタッフの皆さん方によるマンツーマンガイドにより、潜水の不安も薄れダイビングの醍醐味と海中の雄大さを全身に感じることが出来ました。ボホール島は旅行中晴天で海中も明るく綺麗でした。魚も多く、魚の群も見ましたし、特に初めてでしたが、海中の流れにのり海中遊泳の素晴しさと移動する周りの風景の素晴しさにカメラの動画を撮影しました。又小魚やサンゴ、亀など撮影しました。スキルアップもありますが当分はボホール島詣でになりそうです。

宿泊したBOHOL TROPICS RESORTも景色が良く、ショップや海には5分ぐらいで最高でした。朝が早いのが大変でしたが朝の涼しい環境は最高でした。初級で高齢の身分なのに3日で6本の予定に3日間の3本追加とずうずうしくも最後の観光の日も観光をやめ、余分に3本潜り合計で12本ダイビングして、最高でした。また暖かいボホール島のダイビングに行きたいと考えています。

帰ってきたら東京は寒いです、こたえます。



ハシナガチョウチョウウオ

⑶　717　大場　美保

今回、初めてSDCのツアーに参加いたしました。ダイビングは今回を含め4回目の初心者ですが、これまでとは随分違う印象をうけました。Cカード取得以来同じショップに行っていたので、講習会の延長のような感じで、機材の置き方を注意されたり、中世浮力が取れてない、キックが小さい、BCの操作のタイミングが遅い、と口うるさく言われてました。ところが今回のショップは一転、お客様は空気を吸うことだけやって下さいとの事。あぁ、これが噂に聞くお姫様・お殿様ダイビングかと、そのサービスぶりには圧倒されました。エントリー時は、フィンとマスクだけ持って船の先端に突き出した板の上に移動して座るだけ、あとはBCを後ろから装着させてくれてポトリと落ちる感じで、エキジットの時はステップに足を掛けた途端、水中で待機するスタッフ達が寄ってたかってフィンからBC、ウェイトまで取り外してくれるので身軽に上がることが出来、まさにお殿様気分でした。ダイビングのやり方の違いは以上のようでしたが、お天気にも恵まれ、またログ付け後の食事も、当地としては高級なレストランを利用しましたが、日本円で1000円にも満たない価格で満腹。大変満足なツアーとなりました。また機会がありましたらSDCのツアーに参加したいと思いますので宜しくお願いいたします。

今回はGOOD DIVE SHOPの姉妹店であるHAPPYダイブショップのトシさん、Luckyダイブショップのコウタさんも応援に来てくれて、万全のサポート態勢の下でダイビングを楽しむことが出来ました。3日目のバリカサグでは、船戸さんが100本目の記念ダイブを記録しました。

船戸さん100本

参加者

005 大隅楠夫　124 高木元子　506 国師三起子
642 船戸ミチ子　672 香村文泰　709 宮原　亮
714 大場美保　719 秋本正之

個人グループ ツアーレポート

シミランクルーズに参加して

（2010年3月2日～15日）

世話人　245 今村　孝　172 島尾　愛子　　レポート　005 大隅　楠夫

タイのプーケットから出発してシミラン諸島からスリン諸島を回るクルーズは、ここ数年SDCでも人気があり、会報37号、38号、42号に報告されています。今年も2月に実施された公認ツアーに関して、45号8頁に報告されています。私は3月に行われたシミランクルーズ（マリンクェストダイバーズ・ノア号）に参加しました。アンダマン海で潜るのは初めての経験です。

1．シニアならではの行程

シミランクルーズは通常4泊5日で行われていますが、このクルーズは2航海をチャーターして9泊10日の長丁場でした。船に乗る2日前に現地入りして、象トレッキング、ラフティングを楽しんでリラックス出来ました。時間に余裕のあるシニアならではの行程です。クルーズ船にはマッサージ師が同行し、毎日ダイビングの合間や後でマッサージをしてもらっている人がいましたが、これもシニアならではと思いました。

象トレッキング

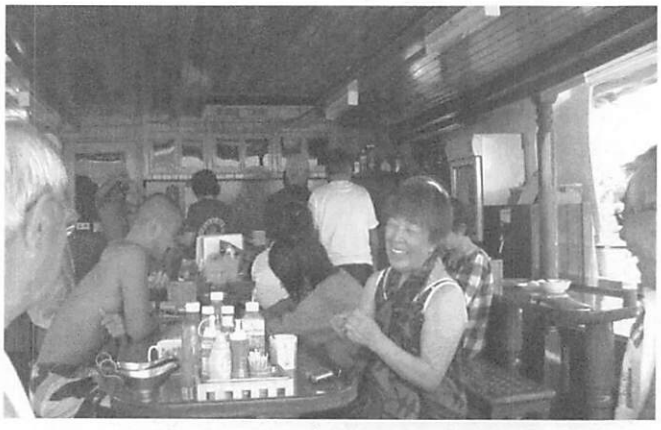
2．参加者

参加者は15名（SDC14名）、平均年齢は67歳、その中7名が70代のベテランメンバーです。各自自分の体力、体調に合わせて2本から4本のダイビングを楽しんでいました。ツアー中に記念ダイブを記録した人が600本2名、700本1名、1100本1名そして世話人の一人島尾さんが2000本となりました。ツアー終了時にマリンクエスト・オーナーが“皆さん何事もなく無事ツアーが終了して、ほっとしています”とコメントがありましたが、この年齢の15名ですから本音だと思います。ツアーで私が初めて一緒する人が6名いましたが、ほとんどSDC懇親会で見知った人達です。食事の時には好きな席に座りますが、そのつど入れ換わりで14名全員と会話を楽しむ事ができました。

3．食住

この船には生ビールが積んであり、ダイビング後のビールが楽しみでした。食事は全て美味しく、野菜や果物が豊富なのは有難かったです。また慣れた参加者が持ち込んだ和食の食材を使ってソーメン、ソバ、五目寿司、カレーライス、納豆などが提供されたのも嬉しかった事です。

クリーニングのサービスがあるのも長丁場の旅に気なる着替えの心配がなく良かった点です。ベッドも広く快適でした。



食堂

4．ダイビング

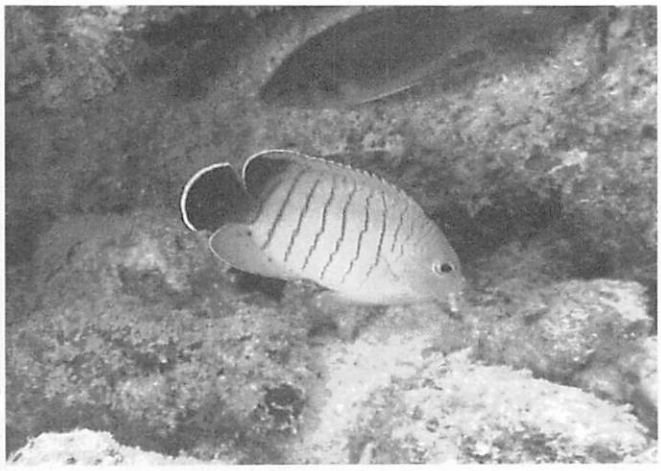
ダイビングは母船からデンギー（ゴムボート）に乗り換えて出かけます。その際、ボートマネージャーのトムさんとボートスタッフの掛け声で機材のチェックが行われます。これはトラブルを未然に防ぐとても良いシステムだと思いました。

5．海の魅力

この海は大物から小物まで色々見ることができるので人気があると思いました。今回は残念ながらジンベイには会えませんでしたが、レオパードシャーク、ナースシャーク、マンタに会いました。リチュリューロックは、魚影は濃く色々な魚の群れが行交っていましたが、残念ながら濁りがあり迫力が弱

められていました。しかしフリソデエビ、ニシキフウライウオ等の小物も豊富で、さすが人気のポイントです。

小物派の私の興味はクジャクベラの仲間であるマッコスカーズ・フラッシャー・ラスのフラッシングです。動きが早くなかなかうまくビデオ映像でとらえることができません。課題が残りました。



エイブルスエンジェルフィシュ

見たことのないヤッコがいるので気になり図鑑で調べると「エイブルス・エンジェルフィッシュ」と分かりました。それに擬態する「インディアン・ミミック・サージョンフィシュ」の幼魚がいることも分かりました。セブ島のリロアンなどでは、クログチニザの幼魚がナメラヤッコあるいはヘラルドコガネヤッコに擬態しているのを見ることがありますが、同じパターンだと思います。

その他面白い生態観察ができました。1つは夕方近くのダイビングで安全停止直前に私の好きなクロテナマコの放精・放卵シーンを見ました。もう一つは1回潜ったナイトで脱皮中のゴシキエビを見ることができました。ラッキーでした。

クロテナマコ

6．懐かしい再会

10数年ぶりに九州の大先輩・菊川さんとお会いする事が出来ました。菊川さんは私の一回り上で、SDC入会当時、私は現役で一番忙しい時代、一方菊川さんは仕事を引退してバリバリ潜っていたのを羨ましく思っていました。“来年はどうなるか分からない”と言いながら、フルハイビジョン・ビデオカメラを片手に元気に1日3本潜っていました。

世話人二人

7．このツアーの魅力

乾期（11～5月）限定のシミランの海のバラエティに富んだ魚達は、幅広いダイバーの好みに応えることができるでしょう。クルーズ船の快適さ、ボートスタッフの行き届いたサービス、美味しい食事なども魅力です。しかし何と言ってもツアー世話人のきめの細かい計画、ほのぼのとした雰囲気が魅力になっています。個人グループと言ってもメンバーが固定されているわけではありません。今年で4回目となるツアーですが、毎回数人ずつ入れ換わっています。それぞれがクルーズ船10日間の長丁場をストレスなく過ごせる旅のベテランが参加しています。それにしても15人の参加者が10日間を、くつろいだ雰囲気で過ごす事ができたのは、世話人の二人とマリンクエスト・オーナー＆スタッフの良好な信頼関係によるものが大きいものと思います。また今回参加したメンバーのように、SDCの中に緩やかな結びつきのある仲間を多く持っている人ほど、色々なダイビングを楽しんでいるのだと思いました。

集合写真

個人グループ ツアーレポート

モルジブ　クルージング

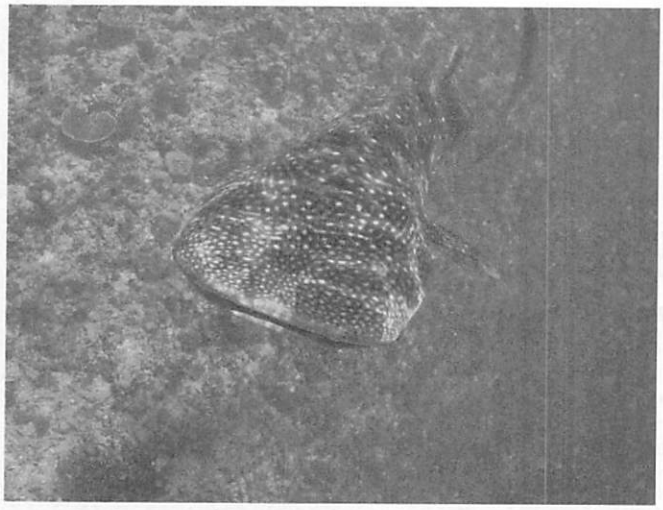
（2010年4月17日～24日）

幹事　294　三輪　勝廣　　レポート　194　鈴木　征男

○ジンベイに会えた

今回のツアーのハイライトはなんと言ってもジンベイに会えたことでしょう。まず、第1回目はダイビング第1日目の18日の午後です。このときは、追跡時間もなかったのですが、2回目の19日の午後はすごかったです。ダイビング用のボートでジンベイを探している最中に発見したもので、すぐにフィンとマスク、シュノーケルの3点セットを身につけてボートから海へ。そこには5ｍほどの浅い海中をジンベイさんが悠然と泳いでいるところです。その周りを、われわれダイバーが追いかけて、5～6分でしょうか、ご一緒させて頂きました。本当に近くで見ることができました。

シュノーケリングでのジンベイ

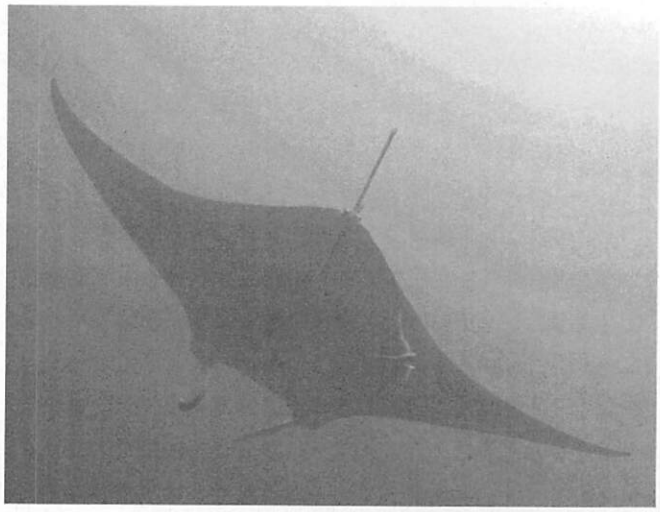


向かってくるジンベイ

そして3回目が、最後のダイビングで見たものです。これまで、何回かマンタやジンベイ狙いのダイビングをしたのですが、狙いどおりには出てきてくれませんでした。それが、最後のダイビングでは、なんとダイビングの最中、ジンベイがいきなり出てきたのです。それが、大きな口を開けて向かってくるのです。沖縄の美ら海水族館でジンベイの餌付けを見たことがありますが、あの水族館で見たものが海の中で突然見ることができたのです。ただ、余りにも突然で、しかも急に向きを変えて遠ざかってしまったために、カメラに納めることができなかったのは残念至極でした。こういうときに「逃した魚は大きかった」とでもいうのでしょうか。

○マンタも見ました

そのジンベイを見る直前にマンタに出会えました。これも、自分たちに向かって来たのでした。真上を通過したマンタには、コバンザメが3匹くっついているのをしっかりと見ることができました。



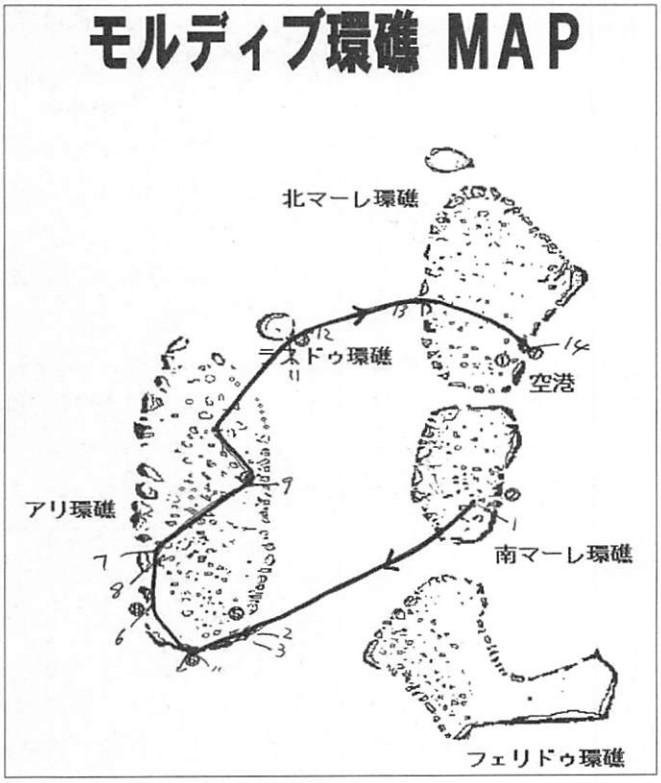
頭上のマンタ

○快適なクルージング・ツアー

今回のモルジブのクルージングは、中部地区の石岡さん、三輪さんが企画した恒例のツアーです。モルジブのツアーはこれまで中部地区では、何回か実施されており、クルージングも2回目だと聞いています。今回は、「アイランド・サファリ・ロイヤル号」でのツアーで、ゆったりダイビングです。キャビンは3人部屋、2人部屋などがあり、定員が24名です。今回は、我々だけで23名ですから貸し切りとなりました。ガイドは、日本人の石渡さんと、的場さん、

それに現地のガイド2名で4名でした。それから、ダイビング用のボートですが、ドーニーと名付けられたこのボートは、横幅が太く、非常にゆったりとしたスペースが確保されており、器材の取り付けも楽にできます。いわゆる「殿様・姫様」ダイブではなく、基本的には器材の設定はすべて自分でやるのですが、そこは参加者は皆ベテラン。問題なくエントリー、エキジットです。

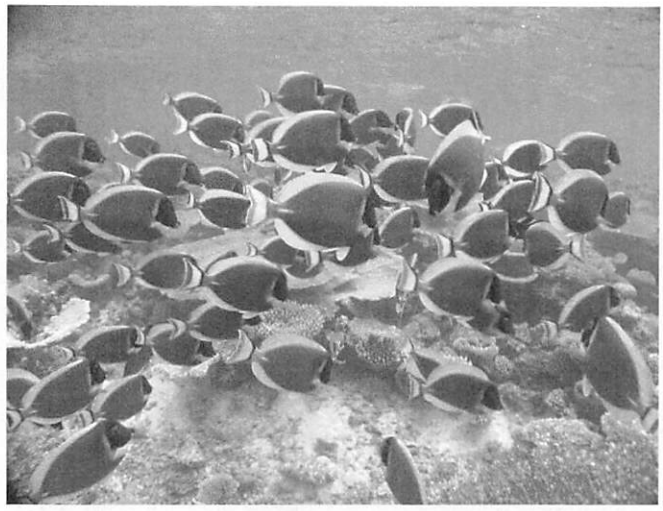
クルーズのコースは南マーレ環礁を通過して、主としてアリ環礁でのダイビングです。アリ環礁を北上して、最後は北マーレ環礁を通過するコースです。ちなみに、先に書いたマンタとジンベイに会えたポイントは地図上で14と書かれた、空港のそばの「ランカンリーフ」というポイントです。



クルージングのコース

○パウダーブルーサージョンフィッシュ

モルジブには、様々な固有な魚たちがいますが、一つだけ、パウダーサージョンフィッシュを紹介してみましょう。「水深2～10mのサンゴ礁内や外縁などにすむ」と言われていますが、今回、シュノーケリングで見に行きました。夕方のシュノーケリングで、ビーチから結構フィンキックで遠出をしました。行くこと数分、サンゴの浅瀬に群をなしていました。これがモルジブの固有種か、と思いつつしばらく眺めていたのです。それにしても、SDCは皆さん、キック力が強い。それに、忍耐強い。珍しいものとなると、どんなに遠くても見に行きたい、という一心で努力をいとわないところがすごいです。


パウダーブルーサージョンフィッシュ

○23名の大所帯

SDCのツアーの中でも、いつも人数が多いのが中部地区のツアーで、今回も23名という大所帯で、クルージング船を借り切ってツアーを楽しむことができました。参加者が多いと言うことは当然、何人かは記念ダイブ。今回は300本が鈴木麗子、400本が鶴田広子、田川志智郎さんです。

そして、いつもながら、幹事の三輪さんと、企画者の石岡さんには一同感謝ですが、この大所帯を束ねていくノウハウが実は多く隠されているのです。ただ、これは企業秘密かも知れません。

【参加者】

森重美知子、西谷サヨ、江田隆、江田尚子、
芳賀幸子、長野恭子、横井康江、高岩辰司、
藤平三枝子、小林幸枝、鶴田廣子、城川知子、
田川志智郎、小野寺弘子、志賀暎功、祖父尼倭子、
鈴木麗子、内芝範子、玉村馨、一木信子、
石岡弘至、三輪勝廣、鈴木征男（順不同）
（写真は西谷サヨさん、鈴木麗子さん撮影）

個人グループ ツアーレポート

モルジブ・バア環礁 ～ロイヤルアイランド滞在

（2010年4月1日～8日）

世話人　047　竹腰　憲江　　レポート　427　木村　満男

4月1日から8日間の滞在型ツアーに参加しました。スリランカエアーの直行便で、北マーレのフルレ国際空港に着き、近くのホテルに一泊して翌日正午過ぎの水上飛行機でさらに西北へ約40分移動して、バア環礁の中央に位置するロイヤルアイランドと云う緑の多い小さな島へ着きました。ガイドブックにはリゾート＆スパで人気があるとのことで、周囲は徒歩で25分位あればゆっくり回れる程度で、真っ白なサンゴの砂浜に囲まれ、椰子が茂る美しい島です。周りはテラス付リゾートハウスが200軒近く建っており、島の南側海上500ｍ程沖に水上飛行機の乗り場である小さなポンツーンがあります。

ロイヤルアイランド全貌

ダイビング用桟橋

ホテルのメインロビーやラウンジ、海岸に面したプールサイドの雰囲気は日本から来た我々６人には充分過ぎる常夏の演出でした。

食事は3食共バイキングスタイルで味も美味しくよく食べよく飲みました。

旅行会社は賛助会員のエムズマリンアドベンチャーの永吉さんに、現地ダイビングも賛助会員のデルフィス・ダイビングセンターで、ガイドさんは日本女性でジュンコさん。10本ボートダイブがUS $400ですが、日本で予約し現地で現金払いをすると50ドル安くなります。ウエルカムドリンクは椰子の実でなかなか美味しく、飲み干したらすっかり満腹になりました。予定では午前だけしか行わないチェックダイブを特別に開催してくれ、島の北側のダイビングボート専用桟橋からエントリーでした。

プールサイドが見えるビーチ

エントリーするやギンガメアジのトルネード。まもなく正面からマンタがやってきて歓迎！あわや正面衝突かと思うニヤミス状態。カメラを構える暇もなく消えて行きました。それっきり最終日まで一度もジンベイは勿論、マンタにも会えずじまいでした。

この桟橋の下ではシュノーケルでもパウダーブルーサージョンフイッシュ、ハゲブダイ、メロンバタフライフイッシュなども簡単に見られたのはさすがにモルジブで、初心者にも充分楽しめます。ダイビングはすべてボートで一日2本。午前1本午後1本とのんびりダイブ。平均30分でポイントに着きます。天候にも恵まれ透明度も良くSDCの皆さんエアーがよくもって60分位潜っていました。また、鉄タンクが重くウエートなしで潜れたので腰にも楽でした。全体にロシアからのお客さんが多く、日本人は我々だけのようでしたが、ダイビングスキルも抜群でガイドさんも楽でしたでしょうね。ダイビングが終るたびにプールで塩抜きをして、コバルトブルーの海と椰子の木陰から真っ青な空と白い雲、また、プールサイドのロシア美人をちらりと見ながらうとうと昼寝、夜空の星と乾杯に向け鋭気を養う毎日でした。あ～、日本に帰りたくないな～！これもメンバーに恵まれたからかな～？また、是非素敵な仲間と来たいものです。今回のツアーで400本記念の人に、皆でTシャッツにサインしてプレゼント。乾杯!!

セーフティダイビング

バディシステムについて

648　江藤　征雄

最近はガイド付ダイビングが当たり前で、ダイビングの基本であるバディシステムが形骸化されているように思います。私自身も同様で、それで良いのだろうか？と考えて見ました。

私がダイビングを始めた今から40年程前の1970年代は、ガイドなしは普通で、装備もBCD無し、残圧計・オクトパス・ダイコン・コンパス無しの、ないない尽しでした。

水中時計は回転リング付、水深計は毛細管式、エアタンクは直にハーネスで背負っていました。そして、セルフダイビングを行う際は、ポイントに関して地元の人から情報を集め、コース、地形、最大深度、流れの有無などを良く頭に入れ、浮上予定時間を決めてエントリーしました。その時、水中時計の回転リングを回してゼロ点合わせを行い、必ずバディと一緒にダイビングを行うことが常識でした。

残圧計が無い代わりにエアタンクには残圧弁が設けられていて、残圧が30kg/㎠になったら一旦エアが停止する仕組になっていました（写真は当時のものですが、タンクからホースは1本のみ、タンク側面に残圧弁の開閉レバーが付いているのが分かります）。

当時の写真（右端：指印が筆者）

残圧が30kg/㎠あれば、レジャー潜水の範囲なら十分浮上出来る量でしたが、水中でエアの供給が一旦停止すると、残圧があることは分かっていても気持ちの良いものではありませんでした。更に、その残圧弁が曲者で、地形ダイビングなどを行い、トンネルのような狭い場所を通り抜ける際、岩などにレバーを引っ掛けると、本人が自覚しない間にバルブが開になってしまうことがありました。

それに気がつかない場合、エア停止時はタンク内残圧が≒ゼロ状態で、水深が深く且つバディが離れていて助けを得られない時は、危険度の高い緊急浮力浮上を覚悟しなければなりませんでした。その為、エントリー時残圧弁の閉状態を相互に必ずチェックし、ダイビング中も時々確認する必要がありました。また、万一の場合を想定し日頃バディ間でレギュレーターの交互使用を行うこともしていました。オクトパスがあり自分のレギュレーターは自分の口に銜えていられるのと違い、暫くの間、バディにレギュレーターを渡すことは頭では理解しても、最初は少し不安でした。それも繰返し行うことで不安感は解消し、バディの連携が深まる効果がありました。

昔は貧弱な装備でしたが、開始前、器材の装着やチェックを手伝い、ダイビング中つかず離れずの距離を保つよう互いに気を配り、必要な時は相互にアシストしながら一緒にダイビングを楽しみました。その事が、夕食時などに共有した水中の出来事について、話が弾む材料になりました。

ところで現在はどうでしょうか。安全をサポートする器材は揃っている。ガイドも付くと言う恵まれた環境で、バディシステムは必要のないような感覚になっていますが、決してそうではないと思います。

ダイビングは基本的には自己責任で行うものですが、水中では予期せぬトラブルが起こる可能性があります。例えば、ダイコンの故障（含む電池切れ）。水中で気分が悪くなり吐いた。足が攣ってキックが出来なくなった。鼓膜が破れて平衡感覚がおかしくなった。水中のロープに器材が絡まった等々…（最初の2つは昨年春、私も経験）。その際、自分だけではどうにもならない時もあり得ます。近くにバディがいれば、事態をいち早くガイドや他のメンバーに伝えて貰うことや、アシスト（バディ自身の安全確保が前提）を受けることも可能で、大事に至ることを回避出来る確率は格段に高まります。

現在のガイドを軸とした「ハブ＆スポーク型」のダイビングスタイルに、横串として昔より緩やかな連携（常に一定の距離を保つ）のバディシステムを組み合わせることで、より楽しく安全なダイビングが出来るものと思います。SDCの活動を通じ、いつでも組める多くのバディを得たいものです。

フィッシュウォッチング

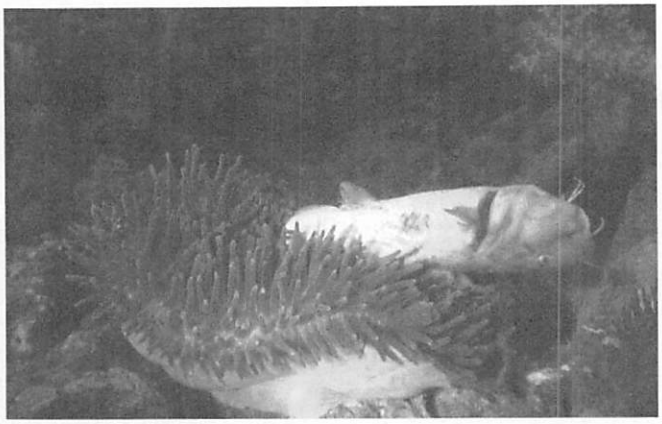
海の生き物の生態観察

005　大隅　楠夫

1．イソギンチャクに捕まった魚

（タイ・リチュリューロック）

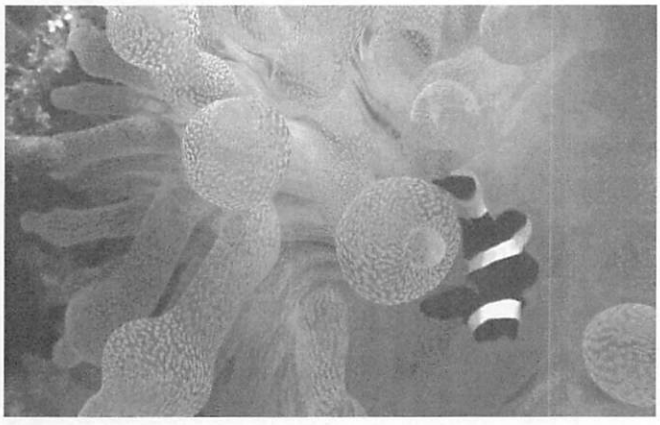
弱っていたのだと思いますが、結構大きな魚がイソギンチャクに捕まって暴れていました。



2．白化イソギンチャクとクマノミ

（セブ島リロアン）

ある種のイソギンチャクは、サンゴと同様に体内に褐虫藻を取り込み、栄養分を得ています。このイソギンチャクは、サンゴと同じく海水温の急上昇等のストレスを受けると、褐虫藻が抜け出して白化することがあります。白化したイソギンチャクと共生するクマノミを時々見かけます。イソギンチャクは白化してもかなり長く生きることが出来るようです。イソギンチャクに捕まった魚を見て、逞しい栄養補給の手段があるからではと思いました。

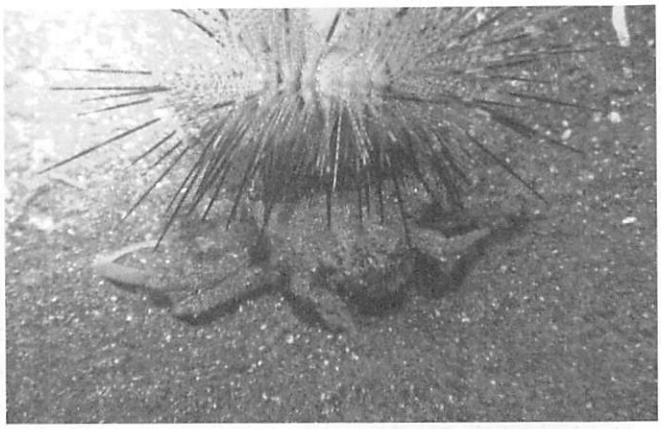


3．2者共生＆3者共生。

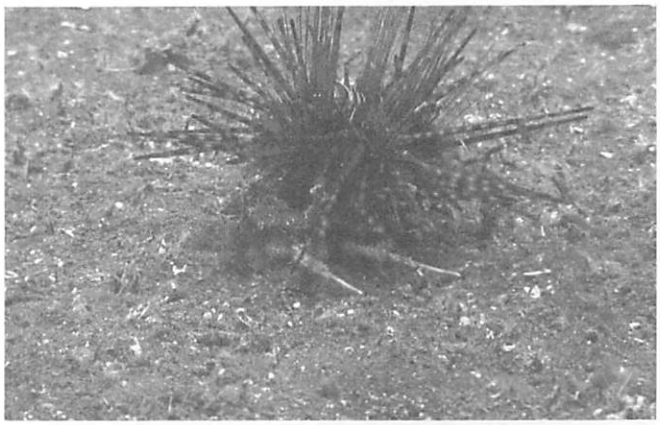
（インドネシア・レンベ島）

ウニを背負ったカニは数個体会いましたが、魚が入っていたのは写真②の1個体だけです。下にウニがいるとは知らずに住み着いたものと思われます。

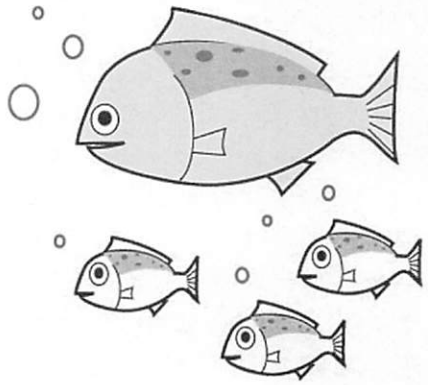
①ウニを背負ったカニ



②ウニの中にバンガイカーディナルフィシュ



＊最近の家庭用ビデオカメラの進歩は目覚ましいものがあります。小さなカメラでフルハイビジョンの動画が撮れます。編集するのはなかなか大変ですが、静止画に切り出すと生態観察の写真として使えます。その例としてハイビジョンカメラ（HDV）で撮った映像を使いました。



連載 第6回

もっと使おう水中コンパクトデジカメ
カメラとワイコンの相性

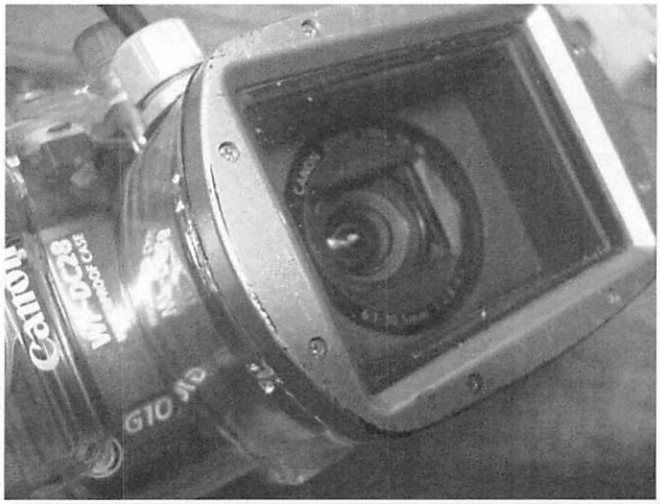
698　工藤　昌男

デジカメのみならず、すべての水中カメラでワイド画角は重要です。でもそれは広い画角で大きな景色を捉えるというよりも、被写体に接近しても全体が撮れるようにするためです。実は陸上の撮影でもワイドレンズの使い方は誤解されています。ワイドは広い大きな景色を撮るためよりも、狭いところで使う方が有効なのです。狭い室内など、カメラが後ろに引けないところで全体の様子を捉えるにはワイドな画角が不可欠で、遠くが見えない水中は言ってみれば室内と同じくワイドがまず基本になります。

コンパクトデジカメには早い時期からズームレンズがついていて、そのワイド端は35ミリ相当の画角でした。その頃には陸上でも35ミリが標準とみなされ、その程度ならズームレンズの設計も容易でした。ところが、この画角は水中ではとても中途半端で使い物にならない事はそれまでのフィルムカメラ、ニコノスなどの経験から証明されています。もしも水中写真展やコンテストで数えてみたら、この画角で撮った写真がいかに少ないか、愕然とするでしょう。私などそれがゼロであってもびっくりしません。コンパクトデジカメではレンズ交換ができませんから、そのレンズをワイドにするためにワイドコンバージョンレンズ、通称ワイコンをつける必要があります（ワイコンは和製英語風略称で外国では通じません。コンデジも同じだし、デジタルだってディジィタルといわなければ怪訝な顔をされるでしょう）。

水中ワイコンはフィルムカメラの時代からSEA&SEAなどの製品として存在しました。特のそのWCL-16は倍率といい画質といい、価格といい、大変に優れていたのですが、次々と出てくるデジカメ用ハウジングに対応できませんでした。デジカメのレンズの多くは、ズーミングにともなって伸び縮みします。それもたいていはワイド側で引き込む。陸上では一向にさしつかえないことで、カタログには書いてありません。でも、ハウジングの中でレンズが引込んだら、せっかくのワイド画角がけられてしまいます。一般にはこれはワイコンとの相性がよくないなどといわれます。コンデジの新規購入に当たって必要なチェック事項です。長さが変らないものあるいはワイド側で短くなるもの（ほとんどありません）、縮んでもせいぜい1㎝程度の範囲内に収まるレンズのカメラを選ぶべきでしょう。勿論水中カメラに強いショップで、確実なアドバイスが得られ、問題がないことが確かめればそれでいいのですが。そういう相性が悪いカメラの場合、ワイコン取り付けのアダプターなどメーカーは作らないはずで、あっても実は画面の隅にけられが出る製品もあります。そのときはちょっとズームアップしてやるか、後からレタッチで解決は出来るので致命的欠陥ではありませんが、その分画角的に損をするわけです。またワイコンのけられは元のレンズが広角であるほど出やすいので、従来ほとんど35ミリ画角のレンズを対象に作られてきたワイコンは、最近のワイド化が進んだズームレンズにつけると相性が悪いことになります。

一概に言えるわけではないのですが、高級なデジカメほどレンズの直径も、伸び縮みも、ワイド画角も大きく、つまりワイコンとの相性が悪くなる傾向があります。画質を中心にして水中写真の芸術性を追求するか、せっかくのダイビングだから気楽に楽しく水中写真を撮ってゆくのか、それは貴方が決めることで、どちらもコンパクトデジカメで可能ですが、今までの水中写真術はあまりにも前者に偏っていたように思えてなりません。そして、ワイコンの使用は、どちらかといえば後者の方により大きなメリットを与えてくれるように思います。みんな集まって水中記念写真を撮る場合なんて、ゼッタイにワイコンが威力を発揮します。



ワイド側でレンズが大きく引っ込むカメラだとハウジングのポートが大きく、外付けワイコンが付け難くなる。

SDC水中映像を楽しむ会
勉強会に参加して

646　鈴木　麗子

3月23日（火）板橋区のハイプラザ板橋にて、水中映像を楽しむ会の勉強会が開催されました。今回は、BBSで参加を呼びかけた事もあり、メンバー以外に3名の方が参加されました。

朝10時、いつもながらの風景がタイムスケジュール通り進められます。先生役の方は、大忙しで、生徒の会員の質問を受けて、問題解決に協力し、また先生役の方も自分の知りたい事を他のスペシャリストに相談し、問題解決を図る。初めての方には最初から最後までサポートしてくれます。

昨年は新人だった、狩野さん・平野さん・私の3人はもう、甘えてばかりはいられません。

12時、ランチタイム。近くのコンビニでお弁当を購入し、食べる間も惜しんでまたPCに向かい合っています。

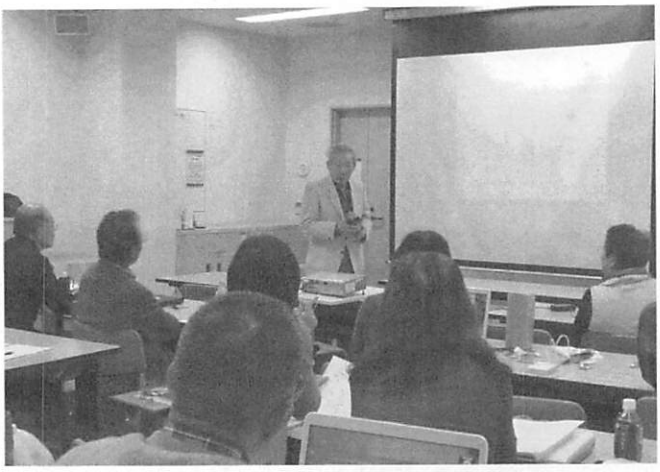
12時30分、初参加の方のための入門ガイド、個別相談がありました。

13時、昨年11月調布の発表会の反省会。

13時30分～14時50分、スライドショー上映会。

名古屋の山本伸子さんから届いた作品も上映されました。他の方の作品を見るのもとても勉強になります。また見てもらう事が何よりも励みになります。スライドショーを作る事で、写真を撮る楽しみが増えました。

15時、工藤さんによるビデオ作品作成についてのお話は、目から鱗の奥の深いことばかり、楽しいお話を聞くことが出来ました。



17時、場所を移して懇親会です。

ただお酒を飲んでるわけではありません。メンバーの情熱は、すごいんです。次回の発表会、次回作品作成に向けて、建設的な意見が出て、またまた反省会の続きです。仕事の都合で遅れていた山内さんも合流し、盛り上がりはやみません。そして、3月生まれの5名（大隅さん・工藤さん・狩野さん・奥原さん・福田さん）のハッピーバースデー合唱で本日の勉強会は終了となりました。

朝10時から午後8時まで何と10時間の長丁場、平均年齢○歳のメンバーとは思えない、体力・気力・向上心。今年の11月の発表会に向けて、水中映像を楽しむ会のメンバーたちは、頑張っています。11月、調布の会場に足を運んでいただけますよう、よろしくお願いいたします。

勉強会会場および懇親会会場を手配して頂いた海老原さん、今回は参加されませんでしたが、いつもありがとうございます。

参加者

今澤恵子、岩崎八重子、大隅楠夫、大隅照子、
奥原研二、工藤昌男、金井達雄、狩野幸繁、
高木忠雄、平野昌子、山内俊一、福田孝子、
鈴木麗子、河原智怡、鈴木征男、村上あい子

SDCミュージックサロン

ポピュラー音楽を歌う会

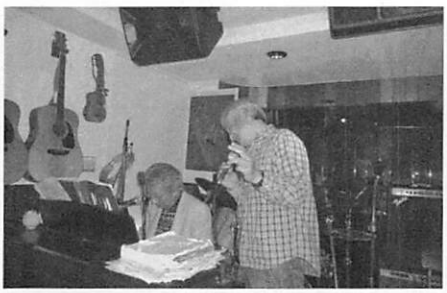
612　吉田　光子

5月8日爽やかな風薫る赤坂の夜、第2回“ポピュラー音楽を歌う会”が開かれました。こじんまりした、おしゃれな落ち着いたジャズバーです。第1回には私は参加しませんでしたが、同じ「J's BAR」をSDCで午後に貸切り、15名が参加されたそうですが、今回は少人数でしたので通常の営業時間内で行われました。まずは、乾杯で軽くのどを潤したところで、なんと80歳になられた工藤さんの弾き語りでスタートです。滑らかなピアノタッチ、おだやかな歌声、渋いですネ。シニアならではの奥行きのある味わい深さに脱帽です。その後は、マスターのピアノ伴奏でそれぞれに歌いたい曲をリクエストし、出遅れようが、歌詞間違えようが、音程はずそうが、ちゃんと合わせてくださり、すっかり歌手気分です。

生演奏で、1人で歌うのは初めてなので、チョット心臓ドキドキでしたが、アルコールと雰囲気にのせられて、最後は、さあ次なに行く？の状態。歌いながらギターを弾く人、ウクレレを弾く人、ドラムでリズムを取ったり大盛り上がりで、今度は発表会をやろう、ステージ衣装は豪華にして、などなど提案続出で、2時間の予定が大幅延長となりました。

他のお客様もいらっしゃったのにマスターゴメンナサイ。よくよくお聞きすれば、村上あい子さんは若かりし頃、フォークバンドのボーカルをやっていた事があるとか、SDCのメンバーの中には、爪を隠した鷹さんが沢山いるのではないでしょうか。自薦、他薦をつのって、新年会や総会でSDCバンドの生演奏なんて素敵ですよネ。ミニコンサートなど開催されれば駆けつけます。我こそはと思う方いませんか。店を出てからの夜風が気持ちの良い夜でした。世話人の千野さん有難う御座いました。次回もぜひ開催して下さい。

参加者：大隅楠夫、大隅照子、
千野正勝、村上あい子、吉田光子、工藤昌男



ブロードウェイミュージカル「ドリームガールズ」

378　西村　麻美

5月25日（火）、平日の昼間なのにほぼ満席のオーチャードホールでした。昨年の秋にハーレムのアポロシアターで喝采を浴びたオリジナルメンバーがそのまま来日。出演者達のド迫力の歌唱と男性陣の豪快なダンス、女性陣のセクシーなダンス、場面展開の速さ、豪華な舞台装置、華麗できらびやかな衣装が次々と、息をもつかせぬミュージカルの見本のような、圧倒的なエンターテイメントの世界でした。

映画「ドリームガールズ」を見たのは約3年前。この映画でアカデミー助演女優賞に輝いたジェニファ・ハドソンの歌う「ワンナイトオンリー」に嗚咽をこらえたことを思い出しながら、今回も、エフィ役の愛を求めて絶叫する歌声に再びもらい泣き。ラストの、スターになったディーナと再出発するエフィとの女同士の復活した友情を歌い合うデュエットのシーンでは、感極まってまたもウルウル。こんなに泣かされたミュージカルは初めてでした。

いつもは1人で見ているミュージカルを、今回は、高木さんの音頭でミュージックサロンの活動としてダイバー仲間6人で同じものを見、同じ感動を共有できて、こんなにうれしいことはありません。

舞台が終わった直後は、「良かった！」「素晴らしかった！」と言い合って、さあ、食事しましょうという段になると、何故か、話題がダイビングのことばかりになるのが、この会の不思議なところです。

ちょうど高松から上京していた栗本さんも加わって、賑やかな楽しいひと時でした。

参加者：高木忠雄、島田美世子、
佐藤道子、池田しのぶ、
栗本はるみ、西村麻美

アウトドアー活動報告

北八ヶ岳スノーシュー/丹沢・大内山&高柄山ハイク/湯沢・山菜ツアー/ゴルフ会

◎北八ヶ岳スノーシュー

571　小野寺　弘子

3月22日～23日催行

昨年SDC会報№41のスノーシューツアーを読んで、スキーはもう無理でもこのスノーシューだったら私でも可能かなあと思い、勇気を出して問い合わせてみました。そして実現したのが今回の北八ヶ岳スノーシューツアー参加です。

蕎麦打ち体験の風景

雪のテーブルを囲んで楽しい昼食の１コマ

総勢18名。チャーターバスで新宿を出発、途中蕎麦打ち体験の昼食を終え横岳ピラタスロープウェイの山麓駅でガイドの藤井さんと合流。それぞれスノーシューを受け取りロープウェイで山頂駅へ。スノーシューの扱いの説明を受け早速今夜の宿である縞枯山荘へスノーシューで出発。

藤井さんの説明では「難しいことは無く爪先を少し上げ踵はだらしなく引き摺る感じが良い」との事。やってみました。雪をサクサク踏む感じが心地良～い。

山荘はブルーの三角屋根でメルヘンチックに見えたけれど、標高2260メートルなだけにやっぱり冷える。寒～い。

晴天の願いかなわず翌朝は辺り一面のガスと強風。白駒池方面に下りて行く予定だったのを風の穏やかな雨池方面に変更。

人の踏みしめた跡も無い真っ白な雪原をサクサク、サクサク。童心に戻ってサクサク、サクサク。自然を味わっている感じがとても贅沢。

途中携帯シャベルで雪のテーブルに雪の椅子作り。そこで皆で座ってお昼ご飯。シチュー、ガーリックトーストにホットワイン。美味しかった。皆で和気藹々で楽しかった。

ダケカンバ、シラビソなどの木々、辺り一面の雪。

山荘を出て6時間余り他の人と一切出くわす事も無く私達のグループのみ。スノーシューでサクサク、サクサク。久しぶりに大自然を満喫させていただきました。帰路温泉に立ち寄りバスの揺れがさらに心地良く、そして無事新宿に着きました。思い出に残る楽しい一泊二日のスノーシューツアーでした。

お世話下さった宇留賀様、他の皆様ありがとうございました。

一年前勇気を出して問い合わせて、本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

◎大内山日帰り山行

4月18日催行

当初予定していた17日は関東地区に観測史上初と言う遅雪の記録で1日順延した。18日は一転暖かな穏やかな日差しとなった。

小田急線「新松田駅」に集合、今日の登山口である丹沢湖までバスで向かった。本来大野山登山口から登るのが一般的であるが、今回は敢えて丹沢湖→大野山登山口の縦走コースを選択した。

標高800ｍにも満たない低山であるが、丹沢湖から登るコースは急登もあり、アップダウンの繰り返しもありでなかなか歯ごたえのある山行にも拘らず、初参加の小元さんはじめ参加者全員健脚で難なく山頂に到着した。春は若葉が萌え、秋には紅葉が燃え、山は二度モエル！！（宇留賀・筆）

◎高柄山日帰り山行

5月15日催行

快晴の中、中央線四方津駅で待合せ、今日の目的地高柄山を目指す。この時期黄色の山吹の季節が過ぎ、山麓は藤と桐の薄紫の花々に彩られる。

中央沿線の山麓にこんなにも藤と桐の木々があったのかと驚かされる。山頂からは残念ながら富士山の霊峰は拝む事が出来なかったが若葉薫るなか、思いっきり森林浴に浸った。（宇留賀・筆）

◎越後湯沢山菜採りツアー
「山菜採りツアーは大成功」

172　島尾　愛子

5月24日～25日催行

ひさしぶりのアウトドアの会への参加でした。それなのに天気予報は雨情報ばかり。外の雨音が気になって、ベッドに入ってもなかなか寝付かれず、主人に「まるで遠足前の小学生だな」と笑われる始末。

朝になっても雨は降り続いていましたが、17名が新宿西口スバルビル前から貸し切りバスに乗って出発しました。湯沢に行く途中、沼田市にある玉原高原に寄り道。玉原湿原でゆっくりミズバショウを見る組と、健脚をいかしてブナ平を歩く組に別れましたが、ひ弱な私はもちろん、ゆっくり組。標高1200ｍというだけあって、空気はとてもひんやりとしていましたが、雨も小雨になり、湿原の風情にぴったり。実は私はミズバショウを初めて見たのです。ずーっと見たいと思っていながら果たせずにいた花でしたが、あの白い花とばかり思っていた部分は葉の一部だったのです。そしてとてもはかなくてすぐ萎れてしまうみたいでした。私たち以外は誰もいない湿原一面に静かに咲くミズバショウを見ることが出来て、幸せがまた一つ増えた気分でした。

望郷の湯という日帰り温泉でちょっと冷えた体を温めてから湯沢に向かったのですが、何と湯沢は晴れていたのです。私たちは強運の持ち主でした。名古屋からの参加者2人も加わって、その夜は、SDCの会員の経営する「ペンション・タケコシ」で一泊。夕食は、BBQ。生ビールのサーバーが用意されていて、もちろん飲み放題。そして、魚沼産コシヒカリの白く輝くご飯のおいしさには参りました。久しぶりに会った人や、初めての出会いや、遅くまでいつものごとく賑やかでした。

いよいよ楽しみな山菜採りです。朝早く起きて散歩をした人の話では少し雨が降っていたらしいのですが、私たちが出掛けるころは地面も濡れていませんでした。場所は冬には雪に覆われてスキーのゲレンデとなるところで、ネイチャーガイドの方の山菜採りの説明をききながら少しずつ上に登っていきます。「まず蕨を見つけましょう。採り方は、自然にポキッと折れるところで折って、長さもそろえて採るようにすると始末もしやすいです。」タチシオデ、イタドリ、タラの芽、コシアブラ、ネマガリダケ　等々。いろんな山菜の名前を教えてもらいました。でもシニアのことだから、すぐ忘れてしまって、何度も聞き返して、ガイドさんもあきれたかもしれませんが、私たちはとても楽しかった。始めのうちはなかなかうまく見つけられなくてウロウロしましたが、慣れてくるとよく目につくようになって、私としては大収穫でした。時として、珍客にであって、凄い悲鳴をあげる人もいて大笑い。あんな声が出れば、痴漢防止ブザーもいらないかも。

お昼ごはんは、楽しみにしていた山菜のてんぷら。ヤマウドの穂は、アスパラのような食感。コシアブラは少し苦みがあって独特の香りがいかにも山菜的。豚汁に入っていたネマガリダケはクマザサの根で熊が大好きとか。そういえば、ガイドさんの腰にはチリンチリンととてもよく響くカネがさがっていました。

夜も昼もよく食べて、よく飲みました。食の楽しみと、おしゃべりの楽しみにひかれて、杖をついても参加したいと思うのももっともな2日間でした。お天気の神様だって、この心意気には晴れの方にサイコロを振らざるを得なかったのでしょう。

ツアーの前の日から天候ばかりを気にしていましたが、終わってみたら「雨の湿原と晴れの山菜採り」と絶妙な取り合わせでした。大成功、大満足でした。

ペンションの竹腰さんにはお世話をかけました。久しぶりの山の空気もおいしかった。

山菜採りにいざ出発・中里

◎栃木ゴルフ会

6月1日～2日催行

アウトドアーのゴルフ会も東北で開催するのは本当に久しぶり。

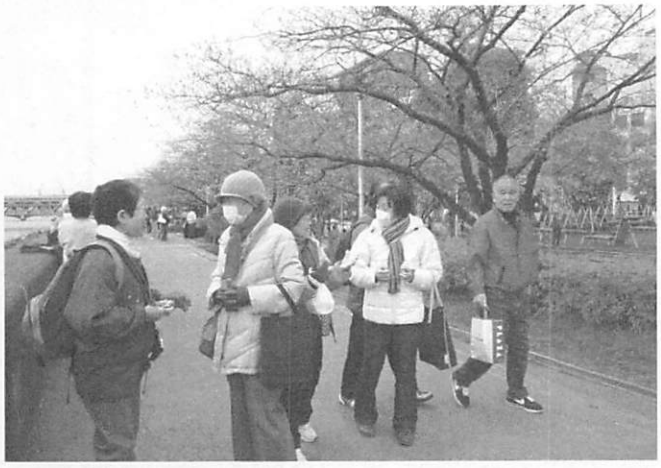
これ以上無いという快晴に恵まれ、千成カントリークラブでの1泊2日のゴルフ会となりました。

和気藹々と1日半のゴルフを楽しみ、大いに語り交流を図った2日間でした。（宇留賀・筆）

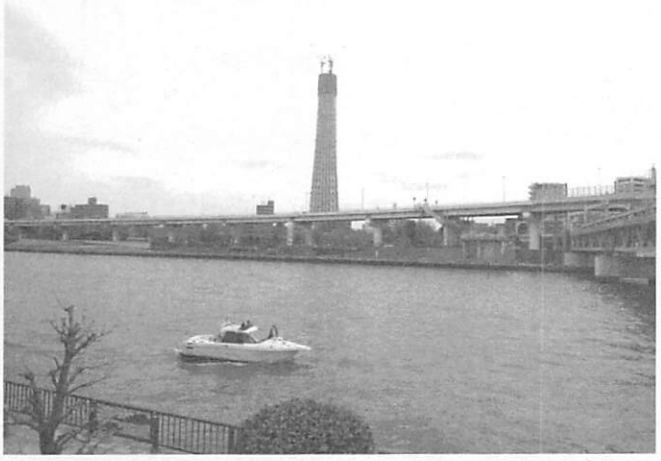
第4回　ご近所の会

440　石川　勝

「うー寒い～」。3月28日（日）のご近所花見の会はまさに底冷えのする寒～い天気に成ってしまいましたが、そこはSDC元気印の集まり。早速墨田川のほとりを5分咲きの桜を散策しながら言問橋を渡り墨田公園で宴会が始まりました。が、なにせ寒い。「今日はビールではなく熱燗だべー」飲むそばから体が冷えてなかなか温まらない。それでも1時間ほど何時ものおしゃべりタイムで盛り上がりました。



空を見上げるとスカイツリーが目の前に。たまたまこの日は333ｍまで積みあがり、東京タワーと同じ高さに成った記念すべき日だったようです（翌日のニュースで知りました）。翌日に343ｍに積みあがりタワーを抜いたそうです。完成は24年春で634ｍの世界一のタワーに成ります。川面に写るスカイツリーと櫻花、ビルの壁面に写るタワーと見所は色々有るようです。そんな記念の日に立ち会えたのも何かの巡り会わせでした。



浅草に戻り、浅草寺は初めてなので「SDCの安全祈願をしましょう」と雷門から参道に入ると寒さにもかかわらず人、人、人、外国人観光客などで一杯でしたが迷子になる人も無く無事参拝をしてから何時ものカラオケに行き、またまた盛り上がってしまいました。

「そろそろ解散しましょう」「まだまだおしゃべりが足りな～い」「何処か喫茶店を探してくださ～い」と言う事で、またまた「わいわい、がやがや」本当に皆さん元気です。次は何時頃ですか？の問いかけに暑くなったら納涼夕涼み会を不忍池の湖畔でやりましょう、と言って皆さんおしゃべりが足り無そうな顔をしながら家路に着きました。

今回は幹事の日にちの設定が悪く、参加の皆さんにはご迷惑をお掛けしてしまいました。お風邪など引かなかったでしょうか？櫻の開花を当てるのは本当に難しいです。

ご近所の会は何の制約も有りません。遠方の方も、お友達も、ご家族の参加、何でも有りです。皆さんお誘い合わせの上、美味しいビールを飲みながらカラオケにお喋り、次回も大いに盛り上がりたいと思いますので是非ご参加ください。

参加者（12名）

005 大隅楠夫、006 大隅照子、018 坂東正朗、
146 佐竹綾子、188 森重美智子、190 西谷サヨ、
440 石川勝（幹事）、541 関屋泰正、603 氏家友枝、
619 祖父尼倭子、623 原田大蔵、684 小林孝子

第24回　呑和会「花見会」

2010年4月4日
世話役　306　宮本　節子

今回の呑和会はちょうど時期的に良い花見を、京都「平安神宮」の妖艶な紅枝垂れ桜を観賞に出かけました。まだ7分咲きぐらいでしたが、当日はお天気も良く、人出も大変なものでした。平安神宮・神苑の桜を観て、後は徒歩でのんびりと満開の疏水の桜や白川の桜を眺めながら…談笑しながら…ゆるゆると…

新会員様もご参加いただき、初顔合わせ!? でも、何故か旧知の友状態～～共通の趣味ダイビングというだけで一つになれます。最初から最後まで和やかなムードで時が流れます!

新会員様も含めて親睦・交流の輪が広がります。

良い交歓会が持てました!!

参加者（18名）

002 一ノ瀬博司	070 河合　貞夫	181 平山　英子	
252 上田　満彦	305 宮内　弘人	306 宮本　節子	
406 立木　博信	407 立木　靖子	470 池田　孝雄	
508 安積　信	539 鹿子木良子	556 田中　宏子	
678 足立　公平	719 秋本　正之	723 田中　彰	
724 田中紀久子	S35 二宮　脩造	未　福井千賀子	

第18回　散骨会を語る会

5月27日（木）「しぐれや」青山にて
618　河原　智怡

表参道の牛肉旬菜しぐれや青山店で9年目で18回目の「散骨会を語る会」の親睦会が始まりました。私も散骨を語る会に参加して5年になります。流れとして、恒例の初参加者の方（2名）の自己紹介と散骨観を話して頂き、近況挨拶から始まります。出席者各自の近況報告から話題は途切れることなく流れて行きます。山菜採りツアーの話、ダイビング旅行から、白内障（2か月ダイビング禁止）、インプラント（4か月ダイビング禁止）、痛い痛い病（腰、足，片）、ケア付きマンションの是非、など様々。美味しい料理、美味しいお酒で更に盛り上がっています。

先日知人の娘さんより電話有り、「母が亡くなりました。母の意向で（遺言）海洋散骨で故人を自然に還します。場所は三浦半島にします」とのこと。娘さん夫婦は趣味がウィンドサーフィンしているので、子供に託したのでしょう。海洋散骨、樹木葬、他色々な葬がありますが、お墓を持っている人、持っていない人、いずれも家族、親戚と常に話し合いをしておく必要がありますね。自分は後何歳生きられるか？何歳までダイビング出来るか？生きがいを持ちながら楽しんで生きたいと思っています。

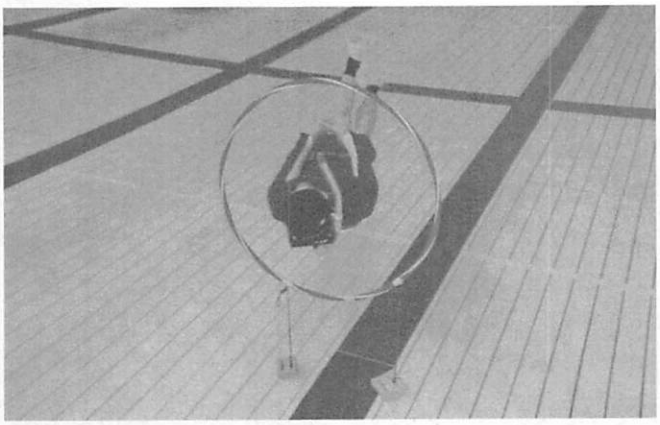
参加者（16名）

005 大隅	006 大隅	007 大西	018 坂東
038 川上	125 川村	128 平野	357 佐藤
370 千野	390 金井	427 木村	453 松山
537 奥原	542 瀧	618 河原	699 岩崎

フリッパーの会活動報告

世話人　205　江田　隆

4月27日今年初めてのフリッパーの会。2階のロビーに集合。久しぶりの顔合わせ。お互いの近況報告で話に花が咲く。安倍智枝さんに手伝って貰って会費の集金。10分前に1階の受付でカードを受け取り、ゲートを通って更衣室。男性の更衣室は左が小ロッカー、右が大ロッカー。大ロッカーを使用し着替えを済ませ、シャワーゲートを通って、プールサイドへ。使用コースはメインプールの10コース。1から10コースの内で1番使いやすいコース。全員でウオームアップ後、初参加の方は、杉本さんにフィンキックの水面移動、潜行、シュノーケルクリア等々の指導を受ける。その他の方は鈴木清子さんに作っていただいたカリキュラムを基に練習。100mのウオームアップから始め、潜行浮上、サイドキックなどを練習し、中間で10分休憩し、終了10分前まで引き続き練習。ジャグジーで体を温めて更衣室へ。1階の食堂でビール、コーヒーで雑談後、6時頃解散。毎回こんな感じで練習しています。



4月27日　参加者15名 内初参加　女性1名
5月12日　参加者10名 内初参加　男女各1名

今後の予定

7月1日（木）　メイン10コース
8月6日（金）　メイン5コース
9月14日（火）メイン10コース
時間はいずれも15:00～17:00で20分前集合

開催場所

江東区辰巳2－8－10「東京辰巳国際水泳場」
地下鉄有楽町線　辰巳駅より徒歩10分。
新木場駅より徒歩12分
両駅と豊洲駅からシャトルバスがあります。
詳細は「東京辰巳国際水泳場」のホームページをご覧下さい、
参加申込先　　205 江田　隆
t-eda3338@mopera.net　　携帯 090-3203-1474

ウォーク＆ジョグの会

637　川住　規夫

久しく開催されませんでした「ウォーク＆ジョグの会」が、会員の強い強い要望で、やっと代表が痛い腰？いや重い腰を上げて、5月1日の土曜日に開催されました。いつもは皇居周辺で催されていましたが、今回は三浦海岸にある「マホロバ・マインズ三浦」というリゾート施設を拠点に、歩きたい人は歩き、走りたい人は走り（当たり前か！）という趣旨のもと、初めて遠くに足を延ばした催しになりました。

京急品川駅から6名、そして京急横浜駅から4名が合流して総勢10名、三浦海岸を目指します。予想された通り、天気は晴れも晴れ！施設の広い広い畳の休憩室に案内され、一服した後、着替えをして皆で歩いて5分ほどの浜辺に出ました。5月の明るく暖かい日を浴びて、気持ちい～！　潮の香りも、心地い～！ここからは海岸沿いを走る人、砂浜を散歩する人、そして付近の名所を目指し散策する人と、それぞれがバラバラの時間を過ごしました。

昼前に施設に戻り、温泉に入った後、早速宴会が始まります。時間になり、1階のレストランで美味しい食事を頂きましたが、その後も休憩室でワイワイ宴会を続ける人、うるさいのにそばで昼寝をする人、プールで泳ぐ人、そしてジャグジーで癒される人とそれぞれがバラバラに楽しい想いをしました。皆で一緒に行動したのは、行き帰りの電車とレストランの食事だけ。施設での支払いは、2900円ポッキリ。

こんなユル～い会は来年も催されるとか！？みなさんも如何ですか？

世話人：542 瀧正明、514 安部智枝
参加者：005 大隅楠夫、006 大隅照子、018 坂東正朗、038 川上秋子、357 佐藤道子、427 木村満男、528 平野淑子、637 川住規夫

賛助会員通信（五十音順）

アクアガーデン

http://aqua-garden.net/

石垣島北部のダイビングサービス＆ペンション

航空券の手配も代行しております。

担当　社領　洋平

Tel: 0980-89-2152 、Fax : 0980-89-2158

E-mail:info@aqua-garden.net

アドミナル㈱（36頁広告参照）

新宿西口徒歩2分安いダイビング器材はこちら！

3つの専門店で、ラクチンなダイビングを完全サポート！

〒160-0023東京都新宿区西新宿1-16-10小勝ビル

3階：水中カメラのアンサー

ホームページ　www.uw-answer.com

担当：野本

TEL :03-3345-0200　FAX :03-3345-8767

メール　info@uw-answer.com

2階　ダイビング器材　サンドウェーブ

ホームページ　www.warpfin.jp/sw

担当　近藤　伊藤

TEL :03-3345-0201　FAX :03-3345-8799

メール　0333450201＠warpfin.jp

地下1階ウエット・ドライスーツ　パールピンク

ホームページ　www.warpfin.jp/pp

担当　太田　伊藤

TEL :03-3345-8790　FAX :03-3345-8776

メール　pearlpink@warpfin.jp

広告も掲載しています！おすすめ商品をチェック♪

安良里ダイビングサービスＴＡＴＳＵＭＩ

http://www.izu.co.jp/~arari

西伊豆安良里のダイビングサービス。

静岡県賀茂郡西伊豆町安良里111-13

代表取締役　高木辰元

Tel & Fax :0558-56-0703

E-mail ：arari@izu.co.jp

エアーワールド（株）

http://www.airworld.co.jp/

夏場の商品も揃い燃油も下がれば例年よりかは安く行ける方面もあります。ミクロネシア（グアム・サイパン・ロタ・チューク・ポナペ）・フィリピン（セブ・ボホール・ドゥマゲティ・ボラカイ）・モルジブ・紅海・ニューカレドニア・ケアンズなどダイビングツアーをご用意しております。

また直行便利用パラオチャーターも7～10月迄の設定が御座います。ダイビングツアー以外もアジア・ミクロネシア・ヨーロッパ・アフリカ・北米・南太平洋など含め格安パッケージツアーも期間限定商品など含めWEBサイトで掲載しております。

今後も常に最新の商品を掲載していきますのでご支援の程、宜しくお願い致します。

本社　TEL06-6947-1065　FAX06-6947-1169

担当　池永　E-mail ikenaga@airworld.co.jp

東京支店　TEL03-5475-3373 FAX03-5475-3374

担当　市川　E-mail ichikawa@airworld.co.jp

㈱エス・ティー・ワールド　ダイブナビ

http://www.divenavi.com/

シニアダイバーズクラブの皆様、いつもご利用頂き誠にありがとうございます。エス・ティー・ワールドダイブナビの阿部でございます。ダイブナビでは「輝け！ダイビング潜柳（川柳）コンテスト2010夏」を開催し、総額100万円相当の賞品をご用意しております。是非ご参加頂ければと思います。

グループツアーの幹事様や急にダイビングツアーにお出かけされたい皆様、お気軽に是非ご一報くださいませ。

SDC会員様には私が特別にお見積もりいたしますのでご連絡お待ちしております。

SDC会員様担当　阿部正和

〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-11-6

エス・ティー・ワールドビル5Ｆ（5階になりました）

TEL :03-5468-3170　FAX :03-5468-3053

E-mail：abe_m@stworld.co.jp

エムズマリンアドベンチャー／横浜カンパニー

http://www.trip-plan.jp/

徳之島生まれで奄美大島育ち。現在ダイブマスターです。ツアー幹事、そして添乗員としてご一緒させていただきます。私のツアーは、「初級ダイバー」、「ひとり旅はまだ不安」、「自分手配は面倒」、という方を想定。故郷、奄美大島はもちろん、ガラパゴス諸島、紅海（エジプト）といった「得意（特異）」なところはもちろん、他の見所（世界遺産や大自然、穴場観光地、面白いイベント）を取り入れたツアーもあります。大事にしているのは現地ダイビングサービスの

ガイド本人とのコミュニケーションです。ツアーの目的とメンバーのことをよく伝え、理解と対応力のあるサービスを利用するようにしています。日本橋・水天宮前のダイビングショップ内にあります。旅行、ダイビングの相談、お待ちしております。

担当　永吉拓也（携帯　090-9968-5710）
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-16-10
TEL：03-3662-1566　FAX：03-5875-9007
E-mail：nagayoshi@msmarine.jp

GOODダイブショップ（フィリピン・ボホール）

http://www.boholgood.com/

フィリピン・ボホール島の日本人が常駐しているダイブショップです。SDC公式ツアーやSDCの個人ツアーなどで、たくさんのSDC会員様も遊びに来て頂いています☆

ダイビングのガイドはもちろん、夕食ツアーにも日本人スタッフが必ず同行させて頂き、比較的日本人にも食べやすいレストランを選んでご案内しています。なかでもフィリピンの地鶏は一度食べてみる価値ありですよ！

皆様のお越しを楽しみにお待ちしております♪
GOODダイブショップSDC担当　冨田恭子
E-mail：shinjik@mozcom.com
GOOD Dive Shop Tours co.ltd.
c/o BOHOL TROPICS RESORT CLUB
GRAHAM AVE.TAGBILARAN CITY
BOHOL PHILIPPINES
TEL：(0)38-501-8988

さうすぽいんとダイビングサービス

http://www4.ocn.ne.jp/~south-p/

石垣島川平地元出身オーナーを中心にスタッフ一同アットホームなお店作りをしています。お店やダイビング船もシニアに利用しやすいように作りました。

代表取締役　高嶺　守
〒907-0453　沖縄県石垣市川平915-1
TEL：09808-8-2277　　FAX：8-2661
E-mail: south-p@wonder.ocn.ne.jp

サザンスタークルーズ（PT.LUMBA-LUMBA）

http://www.s-starcruise.com/　　[別紙広告参照]

SDC会員の皆様。はじめまして、この度SDC賛助会員「S59」にさせて頂きましたサザンスタークルーズ（PT.LUMBA-LUMBA）と申します。私どもはインドネシア政府公認の現地旅行会社兼クルーズ会社としてインドネシアのコモド諸島を始めラジャアンパット等のダイビングクルーズを開催しております。

既にSDC会員の皆様には多々乗船頂いておりますが、コモド諸島を開拓し、ラジャアンパットで多くの航海経験を持つ弊社は、日本人ガイドによる安全ダイビングは勿論の事、皆様の技術、体力に応じた楽しめるダイビングを提供し、またクルーズのもう一つの魅力となる快適さ（食事や居住性）を大切にクルーズを行っております。世界最大1万8,000以上の島々を有する島嶼国家インドネシアはまだまだ未開の海が広がっており、私どもはコモド、ラジャだけに拘らず幅広くクルーズを行ってまいります。どうぞ御期待下さい。

尚、弊社はバリが本社の為、バリのサファリダイブやディトリップダイブも行っております。お気軽に何なりとお問い合わせ下さい。

SDC and 予約担当：島根奈緒美
電話：+62(361)285150　FAX：+62(361)286252
E-mail:lumba2@attglobal.net

㈱ジスコ・ボルネオ旅行社

http:info@borneotravel.co.jp又は「ジスコ」で検索。ボルネオのことしかできませんが、ボルネオのことなら何でもお任せ下さい。

ダイビングの手配はもちろん、快適なジャングル・リゾートに滞在しながら野生動物ウォッチング、東南アジア最高峰のキナバル登山など、さまざまな遊びを手配致します。グループで参加の方で言葉に不安がある場合には、弊社からスタッフが同行することも可能です。まずはご相談下さい！！

担当　沢井・川鍋
TEL:03-5294-1233　FAX:03-5294-0094
E-mail info@borneotravel.co.jp

㈱スポートツアーズ

http://www.sporttours.co.jp

ダイバーが選ぶダイブトラベル大賞クルーズ部門10年連続1位受賞を達成。パラオスポート号は24時間安全体制で20年間無事故を実証。

ご乗船者に20th Anniversaryオリジナルエコバックプレゼント。2010年11月15日にパラオスポート号は就航20周年を迎えます。この記念すべきAnnibersary Yearにダイバーが選ぶダイブ＆トラベル大賞・クルーズ部門において10年連続1位受賞を達成致しました。

これも皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

7月は300キロに点在するポイントを潜り倒すセブクルーズ。8月は毎日乗下船が人気のパラオクルーズの運航をご提供致します。又、20周年記念スペシャルツアーと致しまして10月は水中撮影会。11月はペリリュークルーズとヘレンリーフクルーズ。12月はカヤンゲルクルーズをご用意致しました。

ダイバーの夢を実現するパラオスポート号クルーズにご乗船頂く事を心よりお待ちしております。

代表取締役　　西元君子

〒182-0853　東京都新宿区北山伏町2-2-2F

電話：03-6276-0550　FAX：:03-6240-8282

Eメール：divecruise@sporttours.co.jp

㈲ダイビングベル

http：//www.diving-bell.com

＝定期的な「レギュレーター、BCのオーバーホール」をお勧めします＝　＝もちろん「ウエットスーツ、ドライスーツの修理」もお任せください＝

いよいよ夏本番ですね。伊豆半島がホームグラウンドの静岡でも、アオリイカの産卵がはじまっております。昨年は多くのSDC会員の方の器材メンテナンスのご依頼ありがとうございました。南の島などリゾートで楽しまれるために、「安心ダイビング」の準備として定期的なレギュレーター等のメンテナンスをお勧めいたします。器材のメンテナンス、修理、スーツリフォームなど、ご相談はもちろん無料ですので、お気軽にご連絡（メール、TEL、FAX）下さい。

代表取締役　鈴木　栄

〒424-0924

静岡県静岡市清水区清開2丁目1番3号

TEL：054-336-4740　FAX：054-336-4741

E-mail：diving-bell@za.tnc.ne.jp

デルフィス・ダイビングセンター

http://www.delphisdiving.com/

SDCの皆さんこんにちは。お元気ですか？

モルディブの海は雨期に入り、プランクトンが多い栄養豊富な水中では透明度は悪くなるものの、魚影の濃いリッチな海となります。もちろん環礁東側に位置するパラダイスアイランドとロイヤルアイランド周辺ではマンタやジンベイザメの季節となります。5月下旬から7月上旬はモルディブのリゾートでは夏休み前の静けさで、お客様が随分少なくなります。そのためこの時期は少ない人数でゆとりを持ってダイビングができる、絶好のチャンスなのです。モルディブでのんびりダイブ、またスタッフを独り占めしてダイブをご希望の皆さんは、是非この機会にいらっしゃってください。お待ちしております！

津金　千尋　　Promotion Manager Asia

Delphis Diving Centers, Paradise Island,

Royal Island, Maldives

デイドリーム　パラオ

http://www.daydream.to/palau/

ダイバーひとりひとりのニーズにしっかり対応できるきめ細かいサービスで、ゲストと同じスタンスで海とつきあうスタイルです。シャワー・トイレ完備の大型ダイビング専用ボートと、機動力のある小型スピードボートを駆使し、これまでの数多くのノウハウと、既成の概念にとらわれない新しい試みとをうまく融合させて、パラオの魅力を最大限に活かしたガイディングを提供し続けています。

パラオのダイビングショップ

代表　秋野　大

E-mail：palau-info@daydream.to

道祖神 レックスツアーズ・デスク（35頁広告参照）

http://www.lextours.com

道祖神は1978年に設立し、アフリカ及び特殊な地域を専門に取り扱う旅行会社です。当セクション（通称レックスツアーズ）は2002年に開設され、バハ・カリフォルニア（メキシコ）と、キューバ、中米のグアテマラ、コスタリカ及び、南米のペルー、ボリビアなどを取り扱って来ております。中でもバハ・カリフォルニア（カリフォルニア半島の全土）とメキシコのカリブ海側（コスメル島、カンクンの近海）に関しましては、専門店として、どこの旅行社よりも詳しく対応が出来るのが一番のセールス・ポイントです。

代表　田渕司

〒108-0014東京都港区芝5-13-18M.T.Cビル9F

Tel: 03-5765-7010　Fax: 03-5765-3173

E-mail: info@lextours.com

㈲トラベルネットサービス

http://www.tns-travel.co.jp/

ダイバーのためのダイビング専門旅行会社。

ダイビングツアーなら国内・海外ダイビング専門旅行会社TNSにお任せください。

代表取締役　濱田芳豊三

SDC担当者　佐合　明子

〒460-0008愛知県名古屋市中区栄二丁目12-12

白川第2ビル1F

TEL：052-202-3939　FAX：052-202-3930

E-mail：info@tns-travel.co.jp

HAPPY DIVE SHOP（セブ）

http://www.cebuhappy.com/

セブ・マクタン島にありますHAPPY DIVEです。季節は雨季に突入しましたが、時々スコールが降る程度です。水温は30度台になりました。珊瑚も魚もとても元気です。セブ国際空港の近く、ポートフィーノビーチリゾート内（約20分）にあり、移動のストレスが少ないのが利点です。ギンガメアジ、ロウニンアジなどの大物から、マクロまでバラエティに富んでいます。ポイントも5分から40分程度で比較的近く、皆様、このような海を体験してみませんか？スキルが不安な方は事前にお申し出下されば、無料にてスキルアップファンダイブを実施いたします。

代表　尾花　整

TEL＆FAX：+6332-495-7021

携帯：+63918-252-0758

Skype名　falcon0921

E-mail　happysea@mozcom.com

㈱P. I. T

http://www.pit-diving.com

野生のイルカと泳いだことはありますか？

東京竹芝港から客船で南下すること数時間、伊豆諸島の御蔵島ではなんと！野生イルカと泳ぐことが出来るんです！長閑な島でゆったり過ごし黒潮の温暖な海でイルカと泳ぐ癒しの体験をしてみませんか？引率スタッフがいるので泳ぎが苦手でも大丈夫！イルカと並んで泳げるようにサポート致します！10月末までの期間限定ツアーで、金曜日の夜出発で週末を基本に月2～3回開催しています。

お申し込みお待ちしております。

東京都渋谷区西原3-7-5

ダイビングショップ＆ツアーデスク

◎ダイビング部門担当：雨尾徹

Tel：03-3466-6482、FAX：03-3466-3561

E-mail：diving@pit-diving.com

◎旅行部門担当：松山中

Tel：03-3466-6489、FAX：03-3466-3870

E-mail：travel@pit-diving.com

Pension & Diving Service FISH EYE

http://www.h5.dion.ne.jp/~fisheye/

2010年7月、当社に新しいダイビングボートがやってきます。シニアに優しい使い勝手を考えたダイビング専用船です。 この夏、このニューボートで父島はもとよりケータから母島まで小笠原の海を堪能してください。スタッフ一同、SDC会員皆さんの御来島をお待ちしております。

代表　笠井　信利

〒100-2101東京都小笠原村父島字清瀬

TEL：04998-2-3421　FAX：04998-2-3431

E-mail　fisheye@d3.dion.ne.jp

ぷちアイランド　（37頁広告参照）

http://home4.highway.ne.jp/p-island

東京品川にダイビングショップ“ぷちアイランド”をかまえ今年で早20年目！伊豆七島の八丈島にはぷち営業所があります。のんびり海中ふわふわ派も、来るなら来い派も、どんな方でもOK!!

ダイビング暦30年のインストラクター金子弘之が季節ごとに感動を味わえる八丈島と伊豆半島を中心に日本各地のベストスポットへお客様をお1人から、日程もご希望に合わせ案内いたします。講習も初心者クラスから各種コースまでお1人様から安心してご参加いただけます。

代表　金子弘之　携帯：090-3409-8954

東京都品川区西品川2-7-16

TEL & FAX：03-3495-7015

E-mail：petit@highway.ne.jp

㈲フロムライフ

代表　藤形誠一

〒104-0033　東京都中央区新川2丁目2-1

いづみハイツ茅場町1013号

TEL: 03-3523-1577　FAX:03-3523-1578

㈱モランボンツーリスト

http://www.mrt.co.jp

モランボンツーリストはこんな会社です♪

SDCの皆様、大変ご無沙汰しております。

ハーフ・ハワイアンの武蔵丸小山です。昨年より、賛助会員に名前を連ねさせていただきました。当社は、学生旅行を中心に、1500名のラクロス大会（ご存知ですかラクロス？！：元々は北米インディアンの紛争解決の戦い・鍛錬の競技だったものがカナダ・アメリカに大爆発して、慶応大学が初輸入して日本の大学に爆発的な普及をして200チーム以上に大人気のスポーツ：棒の先に玉網が付いた様なクロスと言うスティックを使う競技。）の運営や合宿をお手伝いしています。競走馬牧場巡りツアーや韓国料理ツアー等趣味のツアーが得意です。

ダイビングに直接お手伝いの機会は少ないかもしれませんが、国内外のGOLF・釣り・スキー・ハイキング・ご宴会・名旅館・パーティー等何でもご相

談下さい。勿論、ハワイ諸島の手配も得意で～す。気長～におまちいたしておりま～す。

TEL：03-3226-0811　FAX：03-3226-0710
携帯090-1837-2622　武蔵丸コヤマまで。
E-mail：koyama@mrt.co.jp

㈱ユー・ツアー・サービス

http://www.u-tour.jp/

ボルネオ、メナド、レンベを中心としたダイビング、エコツアーの専門会社です。その他にも取扱エリアを順次開拓し、魅力あるエリアをご紹介しています。

SDC担当　村瀬慶美
名古屋市東区泉1-17-38　リバーパーク泉2F
Tel：052-963-9500　Fax：052-963-9501
E-mail：tabikikaku@u-tour.jp

ラッキーダイブショップ

ドゥマゲッティ・ダイビング専門店。
http://www.divelucky.com/

日本人常駐のダイブショップ.アポ島が目の前に見える、女性に人気の豪華リゾート内にダイブショップが併設！セブ・ハッピィーダイブ・ボホール・グッドダイブが姉妹店です。

モアルボアル・バリカサグへも遠征することが出来ます。併設ホテルの夕食そしてドゥマゲッティ市内のレストランいずれも皆様にご好評いただいています。海はもちろんアフターダイブも楽しんでいただいています。アポ島に近いドゥマゲッティ空港ご利用もお勧めです。（フィリピンエアー夏時間扱いになり、名古屋のみだったマニラ同日INが関西・成田両空港からも可能になります。是非移動の楽になったドゥマゲッティに遊びに来てください。）

代表　新（あたらし）功太
c/o Private Residence VIP RESORT
Lipayo Dauin, Negros Oriental 6217 Philippines
電話番号　(0063-35)425-2315
日本人携帯番号0063-916-357-1665
E-mail：luckydiveshop@mozcom.com

㈱ワールドツアープランナーズ

http://www.wtp.co.jp
海外のダイビングツアー専門旅行会社。
SDC担当　遠藤　光衛
東京都港区浜松町2丁目2番3号　磯山ビル5F
Tel：03-5425-7711　FAX：03-5425-7713
E-mail：info@wtp.co.jp

南バハ カリフォルニアの専門店

ダイバーなら1度は行ってみたいラパス。そして2度・3度と、やっぱりはまってしまうラパスのダイビング。
バハ カリフォルニア の周りの海は、想像を遥かに超える大自然が、あなたを待っています。
まとめて遭える大物達！アシカ、マンタ、ジンベイ、ハンマーヘッド、ホオジロ、イルカ、ザトウ、そしてシロナガスクジラまで。

●憧れの海、ラパス近海でチャーター・ダイブクルーズ手配が可能!!
6名様～8名様で快適なクルーズ艇がアレンジ出来ます。
今ならまだチャーターに間に合います。
日本から合計7日間～10 日間で、グループに最適、ご出発日はご相談に応じます。
●一昨年より新たなコースが増え、ラパス＋イースト・ケープで合計10本ダイブ（8日間）、
イーストケープでは当社関係の日本人が対応させて頂きます。
●勿論、通常のラパス日帰りダイブ・ツアーはあり、現地では日本人ダイブガイドが皆様のケアーをさせて頂きます。
とに角バハ・カリフォルニアの事なら何でもお申し付け下さい。

LEX TOURS
レックス ツアーズ・デスク
Tel：03-5765-7010　Fax：03-5765-3173
info@lextours.com　http://www.lextours.com

●旅行企画・実施：株式会社 道祖神
〒108-0014 東京都港区芝5-13-18 M.T.Cビル 9F
観光庁長官登録旅行業第757号
JATA（日本旅行業協会）正会員
IATA（国際航空運送協会）公認　旅専正会員

資料請求 お問合せは お気軽に。

SANDWAVEが安い ズバッと君におまかせ

新宿西口 徒歩2分 (仕)

ダイビング器材販売専門店

サンドウェーブ

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-16-10小勝ビル
営業時間　平日／12：00～20：00
　　日・祝日／12：00～19：00
定休日　毎週水曜日・第2木曜日

振込先　三井住友銀行　新宿西口支店
（普）3353329
アドミナル株式会社

よく見える

遠近両用シニアレンズの
オーダーや
こんな便利なマスクまで
取り扱いあり!!!

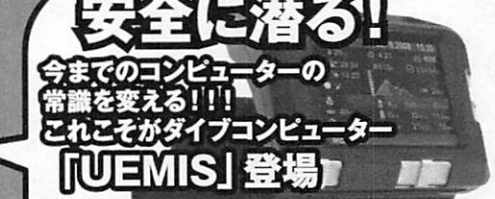
楽に泳ぐ!

脚力に自信なし→先割れフィン
小刻みキックで足首の負担軽減!!!

脚力普通→フルフットフィン
ストラップから
フルフットにするだけで
足首が軽くなり快適に!!!

SDC割引あります
会員番号を言ってください

安全に潜る!



今までのコンピューターの
常識を変える!!!
これこそがダイブコンピューター
「UEMIS」登場

こんなによく見えるコンピューターはなかった!!!
ーUemisだけで、他のメーカーにない特徴：

- ●パネルの文字（表示）が常時発光しているので、濁った水のなかでも確実に読み取れる。
  （ナイトダイビングでは、特にその良さがわかります）
- ●危険警告が黄色から赤色と、段階的に全面に表示されるので、本人も確認しやすく、また周囲のダイバーにもよく見えます。（皆で、安全管理ができます）
- ●水中で、SDA同士が交信し、バディの残圧状況を確認できます。
- ●完璧なLog情報を、本体内に2000本記録します。
  （次のダイビングの待ち時間で、前のダイブプロファイルを簡単に見られます）

脱着&着心地ラクラクシリーズ

リゾートなら
コレ!

軽い!コンパクト!
伸びてあったか
ポーラテックスーツ

5mmなら
コレ!

洋服みたいに
着られるスーツ

ちょっと
寒いときに
コレ!

しめつけ感
ナシの
フードベスト

カメラコーナー 直通 03-3345-0200
スーツウェアー 直通 03-3345-8790

mail:0333450201@warpfin.jp
☎03-3345-0201

ぷちアイランド　夏秋のお奨めツアー

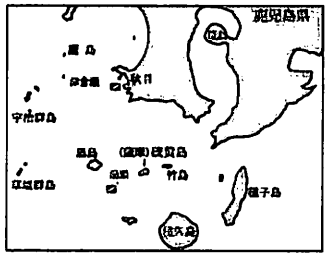
八丈島ボートダイブツアー

7/15(木)～8/2(月)、8/12(木)～8/31(火)　＊希望日１名から催行します。

夏の八丈島は黒潮のド真ん中！平均透明度は30m、水温も26～28℃毎日外洋へボートダイビング、毎週土曜日は大物回遊魚をねらって八丈小島へ遠征します。潜った後は温泉、お湯から上がればかき氷やビールで夕涼み、夕食後は満天の星を魚に心のお洗濯！アルコールが全身にしみわたれば充電完了！翌日への期待ではやる気持ちも、単調な波の音がいつの間にか深い眠りに誘います。…あの少年、少女の頃のワクワクする夏休みをもう一度体験してみませんか？ファンダイブをしながら苦手なスキルのレベルアップのお手伝いもできます。そしてスーパー秘境ポイント小岩戸ダイブ開催の日は、8/16（月）、8/17（火）（旧暦の７日と８日）の予定です。

南九州秘境ツアー薩南諸島

9/30(木)～10/3(日)　＊３名から催行します。



雑誌には載らないけれど桁はずれな野生の海へ！鹿児島秋目港からボートで２時間！薩摩硫黄島、湯瀬、宇治群島、鷹島、千貫瀬などトカラクルーズのミニ版ともいえるツアーです。この２つのツアーのダイビングはフリー潜降、フリー浮上でのドリフトダイビングがほとんどです。基本的な中性浮力、フリー潜降、浮上のスキルがあれば大丈夫。自信がないようでしたら事前に一緒に練習しましょう。冒険ツアーを機に大きくスキルアップされた方もたくさんいらっしゃいます。

追加・ツアー計画のお知らせ

005　会長　大隅楠夫

会報の巻頭言「SDCダイビングツアーを考える」に書きましたが、今年の公認ツアーは予想を超えて少なくなりました。今後どうすればよいか検討を始めますが、急遽原稿締切ギリギリに次のツアー企画が提案されました。No.1018-1020の詳細は、これから決まります。興味のある会員は幹事までお問合せ下さい。新会員および今年のツアー予定が少ない会員の参加を期待します。

◎No.1017　フィリピン・アロナビーチ　10/20-27
幹事／440 石川勝、旅行社／クラブアズール、概算費用／19万円、ダイビング12本
ボホールから橋でつながったバングラオ島の南端にある島です。バリカサグ、カビラオ、サンクチュアリ等良いとこ取りのツアーです。

◎No.1018　サイパン　11/25-29
幹事／018 坂東正朗、旅行社／エス・ティー・ワールド、概算費用／10万円
６DV付、デイドリームサイパン

◎No.1019　セブ・マクタン　12/5-10
幹事／005 大隅楠夫、旅行社／エアーワールド、概算費用／12万円
６DV付、Happyダイブショップ

◎No.1020　西伊豆　9/28-30
幹事／005 大隅楠夫
ゆっくりフィシュウォッチング

＊新企画ツアーの提案にご協力下さい。

ＳＤＣツアー計画一覧表

No	ポイント名	日程	幹事No・幹事名	旅行社他	概算費用	空き
		ツアー概要				
1012	奄美大島 (南部)	7/8～7/12	648 江藤征雄	マリンステイション奄美	概算8.8万円	B
		最近入会された方やSDC公認ツアーへの参加経験が少ない方と、SDC役員との交流ダイビングを奄美大島南部のポイントにて実施。現地集合・現地解散方式。4泊5日(夕・朝・昼3食と部屋はシングル、バス・トイレ付)、6ボートダイブ(希望者は延泊可)。				
1016	フィリピン ボホール周辺 パングラオ ペリカサグ カピラオ	8/23～8/27	070 河合貞夫	トラベルネットサービス	概算10万円	A
		ゆっくり、のんびり、しっかりと潜りたい方の参加歓迎。100本単位で記念ダイブの方は盛大にお祝い。各ポイント2本ずつ計6本の予定。OP有り。10名募集。概算費用は関西発約10万円、成田発約12万円。料金に含まれるものは、航空券、ホテル、現地送迎、掲載ダイビング(6本分)、朝食、ダイビング時昼食。別途費用は夕食代等その他。				
1013	第3回 サンゴ植え付け 沖縄チービシと 渡嘉敷島DIV	10/13～10/18	648 江藤征雄	SEA・MAXとシーフレンド	概算8.5万円	A
		沖縄チービシでSDCのサンゴの根へ植え付け、その後、渡嘉敷島に渡りファンダイビング実施。5泊6日、夕・朝2食付、但し初日・夕食無し、サンゴ苗2本、8ボートDIV。現地集合・現地解散方式(集合:13日夕刻、ホテルブライオン那覇ロビー)、植え付けはSEA・MAX、ファンダイブは渡嘉敷のシーフレンド(ペンション:シングル、バス・トイレ付)です。参加資格は中性浮力の取れる方。				
1009	ラジャアンパット チャータークルーズ	11/12～11/19	508 安積信	エアーワールド	29.5万円	B
		ベストシーズンのラジャアンパット。2003年建造の豪華帆船型クルーズボート『SS8』をチャーター。日本人ガイド同行。　クルーズでは全食事付。12DV。 レベル中級。ボートの燃油サーチャージは別途。				
1015	マブール シパダン	12/13～12/20	194 鈴木征男	ジスコボルネオ旅行社	概算20万円	B
		シパダン水上コテージに5泊。13ダイブ付+無制限タンク貸し。マブールでは全食事付。中性浮力・ダイコン管理必須。燃料サーチャージは別途。				
2011年 SDC新年会		2011/1/23	SDC総務	ホテルフロラシオン青山	1万円	
1101	モルジブ ダイブクルーズ	2/26～3/5	310 戸塚明夫	ST・ワールド	概算25万円	B
		イクエーター号。スリランカ航空利用。8日間、15ダイブ。AOW 中級以上 。 60歳以上は医師の診断書要				

賛助会員企画ＳＤＣツアー計画一覧表 1

No	ポイント名	日程	幹事No・幹事名	旅行社他	概算費用	空き
		ツアー概要				
S1008	バリ スローダイブ	7/12～7/17	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	16万	A
		永吉同行。6名催行します。初級者向け。状況がよければマンボウを狙います。 のんびりゆったりのスローダイブです。6DV 全食事付き。島観光・ダンス鑑賞あり。燃油代など別。				
S1024	ガイドも憧れる スーパーポント(2) 八丈島 小岩戸	7/17～7/20	金子弘之	ぷちアイランド	12万円	A
		小岩戸とは八丈島の南の沖合い3㌔の水面下にある大きな隠れ根!釣りでは有名なポイントでサメや大物回遊魚の住家、(旧暦の7日、8日)潮流が弱まる小潮の日だけ狙える海！ 梅雨明けで期待も膨らみます。1名から開催　3泊6ボート往復飛行機				
S1015	トカラ列島 クルーズ 口之島から 悪石島まで	7月下旬～8月上旬	金子弘之	ぷちアイランド	37万円	A
		日本に残された最後で最高の秘境!トカラ海峡は黒潮が流れる道、何処のポイントも流れがありエキサイテング。本物の自然を見たい方は是非!参加希望者は事前練習もマンツーマンから行います。3名から				

賛助会員企画ＳＤＣツアー計画一覧表２

No	ポイント名	日程	幹事No・幹事名	旅行社他	概算費用	空き
			ツアー概要			
S1019	夏休み八丈島	8/3～8/31の間	金子弘之	ぷちアイランド	12万円	A
	夏の八丈は黒潮のど真ん中！水温26～28℃平均透明度30m。潜った後は温泉へ!そしてかき氷を食べながら夕涼み、夕食後は満天の星の下で光るキノコ見物。古き良き時代の夏休みがここにあり。レベルアップも間違いなし、1名から開催します。3泊4日6ボート往復飛行機。					
S1025	ガイドも憧れる スーパーポント(3) 八丈島 小岩戸	8/15～8/19	金子弘之	ぷちアイランド	12万円	A
	小岩戸とは八丈島の南の沖合い3㌔の水面下にある大きな隠れ根！釣りでは有名なポイントでサメや大物回遊魚の住家、（旧暦の7日、8日）潮流が弱まる小潮の日だけ狙える海なのです。1名から開催　3泊6ボート往復飛行機					
S1009	奄美大島	9/06～9/10	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	11万円	A
	永吉同行。出身地奄美をご案内します。4名集まれば催行します。初級者向けスローダイブ。DVは潜った分だけ現地払い。自分のペースでどうぞ。奄美写真家「興克樹」君のワンポイント・写真講座あり。のんびり・ゆったりの奄美です。					
1020	ベストシーズン 伊豆半島	9/6～9/8	金子弘之	ぷちアイランド	8万円	A
	にぎやかな夏が過ぎ静かになった伊豆の海はベストシーズン開幕！大瀬崎のボートで行く幻のホトケ岩、田子島秋限定の秘密の花園、そして神子元島で大爆発、宿も、お食事も最高！					
S1026	ガイドも憧れる スーパーポント(4) 八丈島 小岩戸	9/13～9/16	金子弘之	ぷちアイランド	12万円	A
	小岩戸とは八丈島の南の沖合い3㌔の水面下にある大きな隠れ根！釣りでは有名なポイントでサメや大物回遊魚の住家、秋のベストシーズン期待大です。1名から開催　3泊6ボート往復飛行機					
S1010	タイ・タオ島 ダイブクルーズ	9/27～10/2	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	17万円	A
	永吉が添乗員で同行。3名集まれば催行します。初級者可。クルーズ船で3日間のダイビング。流れ穏やか。毎年海況の安定する時期を選定.燃油代など別。					
S1021	秋のお勧め 南九州 秘境ツアー	9/30～10/3	金子弘之	ぷちアイランド	21万円	A
	クルーズではなく高速ボートで毎日鹿児島にある拠点に戻ってきます。個性豊かな薩摩硫黄島や宇治群島そして隠れ根など潜るプチ冒険ツアーです。往復飛行機 3泊 3名から開催。					
S1022	伝説よ甦れ 神子元島 大爆発ツアー	10/6～10/8	金子弘之	ぷちアイランド	6 .5万円	A
	伊豆の最南端に浮かぶ神子元島の凄さをぷちアイランド金子が魅せます。1名から開催、初めての方や伝説の扉をのぞきたい方お勧め。熱海駅からの送迎、宿2泊、4ボート、ガイド。					
S1011	ハワイ島 夜のマンタ 火山・郷愁の旅	10/11～10/17	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	26万円	A
	永吉同行。6名集まれば催行します。夜のマンタは大迫力。5DV+溶岩ボート！。郷愁のハワイに泊まる・食べる・観る。燃油代など別。					
S1012	モルディブ スローダイブ クルーズ	10/25～11/01	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	30万円予定	A
	永吉同行。6名で催行。初心者向けのモルジブ・チャーターダイブクルーズ。最大11名。 デルフィスDSの津金さん(現地ガイド暦10年以上)チームがガイド。初心者でも楽しめます。 燃油代など別。					
S1013	パプア ニューギニア キンベ湾・ワリンディ	11/13～11/20	505 永吉拓也	エムズマリンアドベンチャー	28万円	A
	永吉が添乗員で同行。6名集まれば催行。中級者向け。初級者の方ご相談ください。 8～12DV、全食事付。燃油代等別。					

＊計画表はSDC会員の為のクラブ公認のツアーです。　　2010年6月末現在　427 木村 満男

＊空き状況の確認及び詳細はツアー幹事にお問い合わせください。

＊空き状況；A:空きあり B:少し空きあり C:キャンセル待ち。

掲示板

会からのお知らせ

会報は全国に分布する会員の情報交換、コミュニケーションのツールとして重要な機能を果たしています。そして、その会報は会員の皆様からお寄せ頂く原稿により成り立っています。今回のリニューアルでいくつかの新しい試みをしましたので、従来のツアーレポートや行事活動報告に加え、以下のレポート＆写真につきましても積極的な原稿提供をお願いする次第です。文章や写真の上手、下手は関係がありません。自分が体験したことをそのまま綴って頂く、又は映像として表現して頂ければ十分です。是非積極的な投稿をお願いいたします（広報担当194鈴木、648江藤、682渡里）。

1．**表紙用タテ位置の写真**

奮って皆様の自信作を提供下さい。

2．**「セーフティダイビング」コーナーの原稿**

会員自身の「ヒヤリ、ハット」体験や、安全に関するスキルアップの取り組みなどは、安全潜水を行う上で非常に参考になりますので、皆様の体験談を提供下さい。

3．**「フィッシュウォッチング」コーナーの原稿**（フィッシュ：海洋生物全般の意味で使用）

会員の皆様が国内や世界各地の海で見てきた海洋生物の生態は大変貴重なデータです。他の方のダイビングテーマ探しの参考にもなりますので、是非情報提供をお願いします。

4．**表3の「SDC写真館」に掲載する写真**

従来からある「SDC写真館」は、出来るだけ多くの方の写真を掲載するようにしていきたいと思います。会員の皆様の積極的な作品提供をお願いいたします。

編集雑感

総会での正式承認の前から編集に参加して、今まで楽しく読ませて頂いた会報が、広報の役員の方が大変なご苦労があって出来上がっていると知りました。今回表紙の装丁、CONTENTSの表現、記事の並び方等大幅な変更が行われ、また、編集マニュアル、会報原稿管理表も新たに作成されました。リニューアルされた会報をますます充実させるアイデアを出せればと思っております。（渡里　喬）

今回、江藤編集長の下、SDC会報をかなり思い切った改訂を試みました。皆さん、どのように思われましたでしょうか。おそらく、相当読みやすくなったのではないかと思うところです。

それにしても、総会は相変わらず盛会でしたね。参加者も100名を超えました。ただ、一方では公認ツアーの減少は目を覆うばかりです。アメリカ大統領のケネディの演説を思い出しました。「SDCがあなたがたに何をしてくれるかではなく、あなた方がSDCに何ができるかを問おうではないか」。SDCの良いとこ取りではなく、SDCに対して、何らかの形で貢献して欲しいと考えるのは、私だけでしょうか。（鈴木征男）

広報を担当し1年になります。その間の編集作業を通じて、見直した方が良いと思われる箇所がいくつか目に付きました。今回、編集長を担当するに当たって、それらの見直しを行う（役員会にも諮り）ことにしましたが、まだ仕事を続けている関係で、編集作業時間の確保が課題でした。そこで、4月上旬から6月末までの週末は会報編集作業に当てることを覚悟して臨みました（途中1週間は粟国島で息抜きしましたが）。

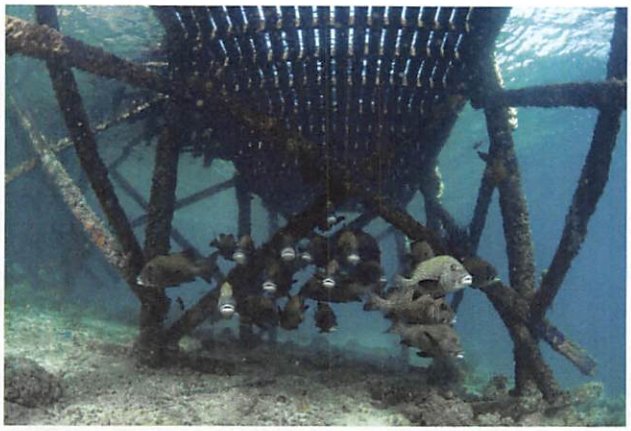
もう一つは、出来る限り編集作業の平準化を図ることでした。締め切り日に原稿が集中するとパンクすることは目に見えていましたので、催行日が早いツアーや行事の幹事さんに、締切日ギリギリでなく早めに原稿を出して頂くことをお願いして、気持ち良くご協力を頂き感謝しております。それから、鈴木さん、渡里さん＆フロムライフの藤形さんのご協力を得て46号会報を纏めることが出来ました。

まだまだ、荒削りなところがあろうかと思いますが、皆様のご意見をお聞きしながら、楽しく、役に立つ会報へと磨きをかけて行きたいと思っています。

尚、リニューアル内容は1ページに掲載しましたので参照下さい。（江藤征雄）

SDC写真館

「地球の海フォトコンテスト2010」入選写真



環境部門入選

「桟橋下」　302　福田孝子

カパライリゾートの桟橋下にはチョウチョウコショウダイの群れが住んでいます。群れがこちらに向くのを待って撮りました。

カメラ：ニコンD300

撮影地：カパライ、撮影年月：2009年12月

自由部門入選

「竜宮」　302　福田孝子

ギンガメの群れを追っていたらマダラタルミの群れと一緒になりカメまで現れました。

カメラ：ニコンD300

撮影地：シパダン、撮影年月：2009年12月

ビギナー部門入選

「光と影」　615　土居元枝

見上げたら太陽がとてもきれい、その下にアジの群れ。

カメラ：ニコノスV

撮影地：シパダン、撮影年月：2008年12月

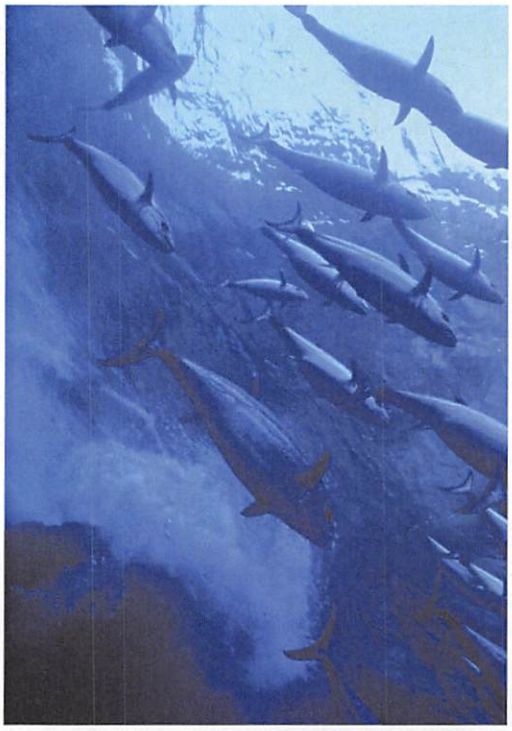
ネイチャー部門入選

「ゼブラバットフィッシュ見参」　646　鈴木麗子

シマシマ模様で、ウミシダの周りをくるくる泳ぎ回っている姿が愛くるしい。

カメラ：オリンパスC5060

撮影地：リロアン、撮影年月：2009年10月



自由部門入選

「動」　615　土居元枝

動きを感じる写真が欲しかったので、マグロの勢いと岩にぶつかる波の荒々しさを入れてみました。自由部門に入選し感激しています。

カメラ：ニコノスV

撮影地：小笠原、撮影年月：2009年7月

SDC主要行事のご案内

SDC全国の集い

全国から参加する会員との交流を深め、また新しい仲間を見つける絶好の機会です。
多くの会員の参加を期待しています。

2011年新年会

日時：2011年1月23日（日） 12:00～16:30
会場：ホテルフロラシオン青山
　　港区南青山4-17-58
　　表参道駅A4出口より徒歩6分
　＊パートⅠ＆Ⅱ共に今年より広く、
　　より情報交換を行いやすい新会場と
　　なりました。
会費：1万円

フロラシオン青山会場案内図

関西地区懇親会

日時：2010年11月28日（日）
　　一部　12:00～15:00
　　二部　15:30～16:30
会場：大阪第一ホテル
　　大阪市北区梅田1-9-20
　　大阪駅より徒歩3分、
　　各線梅田駅より3～5分
会費：1万円（一部・二部合せて）
　＊皆様のご参加をお待ち申し上げて
　　おります。
詳細：306　宮本節子まで

大阪第一ホテル会場案内図

SDCの紹介と入会のご案内

SDCはスキューバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。年齢は20～80歳代、地域は北海道から沖縄まで全国に拡がっています。SDCでは新年会や懇親会等の集いや年約50回のダイビングツアー、雑誌の季刊発行を行うと共に、ダイビング以外の趣味の会、懇親サークル等様々な活動を通して会員相互の親睦に努めています。会員数も300名を超え、更なる会の充実を図って行きたいと思っております。「安全潜水」、「個人責任」、「助け合い」など当クラブの行動原則を理解して行動して下さる方が入会可能です。入会希望の方は事務局までご連絡下さい。

日本シニアダイバーズクラブ事務局　〒252-0144　神奈川県相模原市緑区東橋本2-8-25　阿久津省一方
携帯電話：090-4094-3179　FAX 042-733-2326　E-mail s.akutsu1@jcom.home.ne.jp

SDC ファンダイビングマガジン 2010 July No.46　編集 江藤征雄、鈴木征男、渡里喬　発行 大隅楠夫　日本シニアダイバーズクラブ（SDC Japan）　http://sdcj.cside5.com/